



コンフィギュレーション管理コマンド： Cisco ASR 9000 シリーズ ルータ

このモジュールでは、基本的なコンフィギュレーションの管理に使用する Cisco IOS XR コマンドについて説明します。

コンフィギュレーション管理の概念、タスク、および例の詳細については、『*Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router Getting Started Guide*』を参照してください。

- [abort, 4 ページ](#)
- [admin, 6 ページ](#)
- [alias, 8 ページ](#)
- [apply-template, 11 ページ](#)
- [clear comment, 13 ページ](#)
- [clear configuration commits, 15 ページ](#)
- [clear configuration inconsistency, 17 ページ](#)
- [clear configuration inconsistency replica, 20 ページ](#)
- [clear configuration sessions, 22 ページ](#)
- [commit, 24 ページ](#)
- [configuration commit auto-save, 29 ページ](#)
- [configure, 31 ページ](#)
- [description \(インターフェイス\), 34 ページ](#)
- [do, 36 ページ](#)
- [end, 38 ページ](#)
- [end-template, 40 ページ](#)
- [exit, 42 ページ](#)

- hostname, 45 ページ
- load, 47 ページ
- load commit changes, 49 ページ
- load configuration failed, 51 ページ
- load configuration removed, 53 ページ
- load rollback changes, 55 ページ
- man, 57 ページ
- more, 60 ページ
- pwd (config) , 65 ページ
- rollback configuration, 66 ページ
- root, 70 ページ
- save configuration, 72 ページ
- save configuration changes, 74 ページ
- save configuration commit changes, 76 ページ
- save configuration failed, 79 ページ
- save configuration merge, 81 ページ
- save configuration removed, 83 ページ
- save rollback changes, 86 ページ
- set default-afi, 88 ページ
- set default-safi, 90 ページ
- set default-vrf, 92 ページ
- show, 94 ページ
- show aliases, 98 ページ
- show configuration (config) , 100 ページ
- show configuration changes, 103 ページ
- show configuration commit changes, 105 ページ
- show configuration commit list, 108 ページ
- show configuration failed (config) , 111 ページ
- show configuration failed incompatible, 114 ページ
- show configuration failed remove, 116 ページ
- show configuration failed rollback, 118 ページ

- [show configuration failed startup, 120 ページ](#)
- [show configuration history, 122 ページ](#)
- [show configuration inconsistency replica, 127 ページ](#)
- [show configuration persistent, 129 ページ](#)
- [show configuration removed, 131 ページ](#)
- [show configuration rollback changes, 133 ページ](#)
- [show configuration running, 136 ページ](#)
- [show configuration running-config, 138 ページ](#)
- [show configuration sessions, 141 ページ](#)
- [show default-afi-safi-vrf, 143 ページ](#)
- [show history, 145 ページ](#)
- [show running-config, 147 ページ](#)
- [template, 151 ページ](#)

abort

コンフィギュレーションセッションを終了し、コミットされていない変更をシステムの確認なしにすべて破棄するには、任意のコンフィギュレーションモードで **abort** コマンドを使用します。

abort

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

コンフィギュレーションセッションを終了し、任意のコンフィギュレーションモードから EXEC モードに戻るには、**abort** コマンドを使用します。このコマンドは、すべてのコミットされていないコンフィギュレーションの変更を廃棄します。変更のコミットを求められます。

タスク ID

タスク ID	操作
コマンドの影響を受ける機能またはモードのタスク ID	コマンドの影響を受ける機能またはモードの動作

例

次に、**abort** コマンドを使用して、コンフィギュレーションセッション中に行った変更をすべて破棄する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface gigabitethernet 0/2/0/0
```

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# ipv4 address 1.1.1.1 255.0.0.0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# abort
RP/0/RSP0/CPU0:router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
end, (38 ページ)	セッションを終了し、あらゆるコンフィギュレーションモードの状態にあるルータを EXEC モードへ戻します。
exit, (42 ページ)	現在のコンフィギュレーション モードを終了して次の高度なコマンドモードを開始するか、端末セッションからログアウトします。

admin

管理 EXEC モードを開始するには、EXEC モードで **admin** コマンドを使用します。

admin

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース

変更箇所

リリース 3.7.2

このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

管理 EXEC モードを開始するには、**admin** コマンドを使用します。管理コマンドは、さまざまな管理プレーン コマンドの実行に使用します。



(注)

管理コマンドは、管理モードを開始することによってのみ実行できます。EXEC モードで **admin** コマンドにキーワードをプレフィックスしても実行できません。

タスク ID

タスク ID

操作

admin

読み取り、書き込み、実行

例

次に、管理 EXEC モードを開始する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# admin
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin)#
```

管理コンフィギュレーションモードを使用するには、管理 EXEC モードで **configure** コマンドを使用します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# admin
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin)# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure , (31 ページ)	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

alias

コマンドエイリアスを作成するには、グローバルコンフィギュレーションモードで **alias** コマンドを使用します。エイリアスを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

alias *alias-name* [(*param-list*)] *content*

no alias *alias-name*

構文の説明

<i>alias-name</i>	コマンドエイリアスの名前。エイリアス名は1つの語にすることも、ハイフン (-) やアンダースコア (_) で結合された複数の語にすることもできます。
<i>param-list</i>	(任意) エイリアスに割り当てられるパラメータ。これらのパラメータは、実行時に埋め込まれます。
<i>content</i>	元のコマンド構文。元のコマンド構文の有効な省略形は、 <i>content</i> 引数に入力できます。

コマンド デフォルト

コマンドエイリアスは設定されていません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

Cisco IOS XR ソフトウェアでは、さまざまなエンティティ用の汎用エイリアス定義がサポートされます。エイリアスは、任意の物理エンティティまたは論理エンティティに参照として割り当てることができます。たとえば、エイリアスでは、コマンド、コマンドの一部、コマンドのグループ、場所、または IP アドレスを参照できます。

エイリアスは最初に定義を行う必要があります。そのあと、定義済みのエンティティの代わりにエイリアスをコマンドラインで使用できます。

エイリアスのプロパティのリストを次に示します。

- エイリアスは、任意のモードで場所を問わず使用できます。
- エイリアスには、0 個、1 個、または複数個のパラメータを割り当てることができます。
- エイリアスでは、\$ 記号が付いたパラメータを参照できます。
- エイリアスで複数のコマンドを参照する場合は、それらのコマンドをセミコロン (;) で区切る必要があります。
- **alias** コマンドのサイズの上限は 1024 文字です。

alias コマンドは任意の場所で使用できます。エイリアスによって参照されるコンテンツがそのコンテキストまたはモードにおいて無効または不適切である場合は、置換コンテンツを含む警告メッセージが表示されます。

エイリアスを表すキーワードのサブセットをエイリアス名にすることはできません。置換は、入力の一致が完全に失敗した場合に限り行われます。たとえば、次の例に示すように、エイリアス名を「**config**」としてエイリアスを定義しようとすると失敗します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# (config)# alias config set_host hostname router
RP/0/RP0/CPU0:router# (config)# show configuration

alias set_host hostname router
```

すべてのコマンドエイリアスまたは特定のモードのコマンドエイリアスを表示するには、**show aliases** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
logging	読み取り、書き込み

例

次に、**show ipv4 interface brief** コマンドを表す **ipbr** という名前のエイリアスを作成し、コンフィギュレーションをコミットして、EXEC モードを開始し、設定したエイリアスを入力する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# alias ipbr show ipv4 interface brief
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# show configuration

Building configuration...
alias ipbr show ipv4 interface brief
end
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# commit
RP/0/RSP0/CPU0:Feb 21 04:42:57.017 : config[65689]: %MGBL-LIBTARCFG-6-COMMIT :
Configuration committed by user 'lab'. Use 'show configuration commit changes 1000000022'
to view the changes.
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# end
```

```
RP/0/RP0/CPU0:Mar 27 22:19:05 : config[65739]: %SYS-5-CONFIG_I : Configured from console
by lab
RP/0/RSP0/CPU0:router# ipbr
RP/0/RSP0/CPU0:router# show ipv4 interface brief

Interface                IP-Address      Status          Protocol
Loopback0                1.1.1.1         Up              Up
Loopback999              unassigned      Up              Up
MgmtEth0/0/CPU0/0       12.29.56.21     Up              Up
RP/0/RSP0/CPU0:router#
```

次の例は、POS インターフェイス 1/0/2/3 を表す mycompany-10ge という名前のエイリアスを定義する方法を示してから、このエイリアスを使用してインターフェイスをシャットダウンする方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# alias mycompany-10ge gigabitethernet1/0/2/3
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface mycompany-10ge
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# shutdown
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# exit
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)#
```

次に、エイリアス定義でパラメータ名を使用する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# alias shint (intname) show interface $intname
```

次に、1つのパラメータと2つのコマンドを使用してエイリアスを定義する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# alias shint_both (intname) show interface $intname;show run
interface $intname
```

次に、EXEC モードでエイリアス shint_both を使用する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(exec)# shint_both(gigabitethernet1/2/3/4)
```

次のように、2種類のコマンドが発行されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(exec)# show interface gigabitethernet1/2/3/4; show run interface
gigabitethernet1/2/3/4
```

関連コマンド

コマンド	説明
show aliases, (98 ページ)	すべてのコマンドエイリアスのサマリーを表示します。

apply-template

ターゲット コンフィギュレーションにテンプレートを適用するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **apply-template** コマンドを使用します。

apply-template *template-name* [(*param-list*)]

構文の説明

<i>template-name</i>	実行コンフィギュレーションに適用するテンプレートの名前。テンプレートを定義するには、 template コマンドを使用します。
<i>param-list</i>	(任意) 5 個までのテンプレート パラメータ。

コマンド デフォルト

ターゲット コンフィギュレーションに適用されるテンプレートはありません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

ターゲット コンフィギュレーションにテンプレートを適用するには、**apply-template** コマンドを使用します。テンプレートを使用すると、コンフィギュレーションコマンドのグループを表すテンプレート名を作成できます。

テンプレートを定義するには、**template** コマンドを使用します。テンプレート コンフィギュレーションモードを終了してグローバルコンフィギュレーションモードに戻るには、**end-template** コマンドを使用します。テンプレートの内容を表示するには、オプションの **template template-name** キーワードおよび引数を指定して **show running** コマンドを使用します。

タスク ID	タスク ID	操作
	config-services	読み取り、書き込み

例 次に、テンプレートを定義し、そのテンプレートをターゲット コンフィギュレーションに適用する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# template hostname-template
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-TPL)# hostname router1
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-TPL)# end-template
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# apply-template hostname-template
```

関連コマンド	コマンド	説明
	end-template, (40 ページ)	テンプレート コンフィギュレーションモードを終了します。
	show running-config, (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。
	template, (151 ページ)	テンプレートを定義します。

clear comment

コンフィギュレーションに関連付けられているコメントを廃棄するには、任意のコンフィギュレーション モードで **clear comment** コマンドを使用します。

clear comment

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

clear comment コマンドは、コンフィギュレーション ファイルの特定のコンフィギュレーションに追加されたコメントをクリアします。**clear comment** コマンドの入力後、コメントを削除するコンフィギュレーションを別の行に入力します。

コンフィギュレーションにコメントを入力するには ! を入力し、そのあとにコメントを入力します。入力したコメントは、次に入力したコンフィギュレーションに関連付けられます。例：

```
RP/0/RSP0/CPU0:router#!router1 is located in xxx
RP/0/RSP0/CPU0:router# hostname router1
RP/0/RSP0/CPU0:router# commit
```

コメントは、**show running-config** コマンドの出力に表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show running-config
...
!router1 is located in xxx
hostname router1
...
```

タスク ID

タスク ID	操作
コマンドの影響を受ける機能またはコンフィギュレーションモードのタスク ID	コマンドの影響を受ける機能またはコンフィギュレーションモードの動作

例

次に、コンフィギュレーション `ipv4 address 1.1.1.1 255.0.0.0` に関連付けられているコメントを破棄する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# clear comment
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# ipv4 address 1.1.1.1 255.0.0.0
```

clear configuration commits

コミットデータベースから古いコミット ID を削除してディスク領域を解放するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **clear configuration commits** コマンドを使用します。

clear configuration commits {*diskspace kilobytes* | *oldest number-of-commits*}

構文の説明

diskspace kilobytes *kilobytes* 引数で指定したキロバイト (KB) 数を解放するのに必要な数のコミット ID をコミットデータベースから削除します (使用可能なコミット ID のうち最も古いものから削除されます)。解放するディスク領域のキロバイト数の範囲は 1 ~ 4194304 です。

(注) 解放されるディスク領域の容量は、コミットデータベース内に存在するコミットのサイズおよび数によって異なる場合があります。

oldest number-of-commits *number-of-commits* 引数で指定した数のコミット ID を削除します。

(注) オンライン ヘルプ (?) 機能を使用して、削除できるコミット ID の範囲を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

ロールバック動作に使用可能な数のコミット ID を削除するには、**clear configuration commits** コマンドを使用します。直近の 100 回のコミットがシステムによって保持されます。新しいコミット ID が追加されると、最も古いコミット ID が破棄され、ロールバック動作には使用できなくなります。



(注) **clear configuration commits** コマンドは、コミットデータベースのコミットだけを削除します。したがって、実行コンフィギュレーションは変更されません。



(注) コミット ID がコミット データベースから削除されると、そのコミット ID はロールバックに使用できなくなり、コミット変更の表示 (**show configuration rollback changes** コマンドによる) に使用できなくなります。

現在の実行コンフィギュレーションを前のコンフィギュレーションにロールバックするには、**rollback configuration** コマンドを使用します。ロールバック動作に使用可能なコミット ID のリストまたは **rollback configuration** コマンドによって行われる変更を表示するには、**show configuration rollback changes** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	実行

例

次に、最も古い 16 個のコミット ID を削除してディスク領域を解放する例を示します。このコマンドを入力すると、削除の確認を求めるプロンプトが表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# clear configuration commits oldest 16
Deleting 16 rollback points '1000000021' to '1000000036'
256 KB of disk space will be freed. Continue with deletion?[confirm] y
```

関連コマンド

コマンド	説明
rollback configuration , (66 ページ)	コンフィギュレーションを以前のコミットにロールバックします。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

clear configuration inconsistency

ルータ コンフィギュレーションまたは管理プレーンコンフィギュレーションの不一致アラームをクリアするには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **clear configuration inconsistency** コマンドを使用します。

clear configuration inconsistency

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

管理 EXEC モード : 管理プレーン コンフィギュレーションの不一致アラームをクリアします。
EXEC モード : SDR コンフィギュレーションの不一致アラームをクリアします。

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

不一致アラームは、コンフィギュレーションの回復に失敗した場合に設定されます。これはルータ起動中、またはラインカードまたはルート スイッチ プロセッサ (RSP) カードを挿入または取り外すときに発生します。

不一致アラームが設定されている場合は、次のようなメッセージが表示されます。

```
RP/0/0/CPU0:May 26 11:58:40.662 : cfgmgr-rp[130]: %MGBL-CONFIGCLI-3
  BATCH_CONFIG_FAIL : 28 config(s) failed during startup. To view
  failed config(s) use the command - "show configuration failed startup"
```

```
RP/0/0/CPU0:May 26 11:58:41.731 : cfgmgr-rp[130]:
  %MGBL-CONFIG-3-ADMIN_INCONSISTENCY_ALARM : Admin plane configuration
  inconsistency alarm has been raised. Configuration commits will be
  blocked until an ADMIN plane 'clear configuration inconsistency' command
  has been run to synchronize persisted admin plane configuration with
  running admin configuration.
```

不一致アラームが設定されている場合は、**clear configuration inconsistency** コマンドを使用してアラームをクリアするまで、コンフィギュレーションコミット動作がすべて失敗します。このコマンドはアラームをクリアし、失敗したコンフィギュレーションを削除します。

たとえば、次のコンフィギュレーションコミットは既存の不一致アラームのために完了できません。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure

ADMIN plane running configuration is inconsistent with persistent
configuration.
No configuration commits will be allowed until an admin plane
'clear configuration inconsistency' command is performed.
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# hostname router2
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)#commit

ADMIN plane running configuration is inconsistent with persistent
configuration.
No configuration commits will be allowed until an admin plane
'clear configuration inconsistency' command is performed.
```

アラームをクリアしてコミット動作を続行できるようにするには、**clear configuration inconsistency** コマンドを入力します。



(注) 失敗したコンフィギュレーションを再適用するには、コンフィギュレーションを再適用して再コミットする必要があります。以前に失敗したコンフィギュレーションの内容をスタートアップコンフィギュレーションからターゲットコンフィギュレーションに入力するには、**startup** キーワードを付けて **load configuration failed** コマンドを使用します。

コンフィギュレーション履歴ログの不一致アラームの設定イベントとクリアイベントを表示するには、**alarm** キーワードを指定した **show configuration history** コマンドを使用します。

コマンドモード

管理プレーンコンフィギュレーションの不一致アラームをクリアするには、管理EXECモードで **clear configuration inconsistency** コマンドを入力します。

ルータの不一致アラームをクリアするには、EXECモードで **clear configuration inconsistency** コマンドを入力します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	実行

例

次の例は、管理EXECモードで **clear configuration inconsistency** コマンドを入力して、管理プレーンコンフィギュレーションの不一致アラームをクリアする方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# admin
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin)# clear configuration inconsistency
```

```

Creating any missing directories in Configuration File system...OK
Initializing Configuration Version Manager...OK
Syncing ADMIN commit database with running configuration...OK
Re-initializing cache files...OK
Updating Commit Database. Please wait...[OK]
    
```

次の例は、ルータ コンフィギュレーションの不一致アラームをクリアする方法を示します。コマンドは EXEC モードで入力します。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# clear configuration inconsistency

Creating any missing directories in Configuration File system...OK
Initializing Configuration Version Manager...OK
Syncing commit database with running configuration...OK
Re-initializing cache files...OK
Updating Commit Database. Please wait...[OK]
    
```

次の例では、**alarm** キーワードを指定した **show configuration history** コマンドを使用して、ルータ コンフィギュレーションの設定およびクリアされた不一致アラームの履歴が表示されます。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration history alarm

Sno.   Event           Info                                     Time Stamp
~~~~~ ~~~~~~         ~~~~~~                                 ~~~~~~
1      alarm           inconsistency alarm raised             Thu Jun 22 15:23:15 2009
2      alarm           inconsistency alarm cleared           Thu Jun 22 15:42:30 2009
3      alarm           inconsistency alarm raised             Sun Jul 9 13:39:57 2009
4      alarm           inconsistency alarm cleared           Sun Jul 9 14:15:48 2009
5      alarm           inconsistency alarm raised             Sat Jul 15 18:18:26 2009
6      alarm           inconsistency alarm cleared           Sat Jul 15 19:21:03 2009
    
```

関連コマンド

コマンド	説明
load configuration failed, (51 ページ)	以前に失敗したコンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションからターゲットコンフィギュレーションに入力します。
show configuration failed startup, (120 ページ)	起動時に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history, (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。

clear configuration inconsistency replica

複製ノードのコンフィギュレーションの不一致を解決するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **clear configuration inconsistency replica** コマンドを使用します。

clear configuration inconsistency replica location node-id

構文の説明

location node-id 指定したノードのコンフィギュレーションの不一致を解決します。
node-id 引数は、ラック/スロット/モジュール の形式で表されます。

コマンド デフォルト

管理 EXEC モード：管理プレーン コンフィギュレーションのあらゆるコンフィギュレーションの不一致を解決します。

EXEC モード：ルータ コンフィギュレーションのコンフィギュレーションの不一致を解決します。

コマンド モード

EXEC

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

管理 EXEC モードでは、**clear configuration inconsistency replica** コマンドの複製ノードはスタンバイの Designated System Controller (DSC; 指定システム コントローラ) です。EXEC モードでは、複製ノードは、指定シェルフ コントローラ (DSC) になることができる、ルート スイッチ プロセッサ (RSP) です。

スタンバイ DSC と現在のアクティブ DSC との間にコンフィギュレーションの不一致がある場合、または DSC になる可能性があるノードのコンフィギュレーションと現在の DSC のコンフィギュレーションが同一でない場合は、**clear configuration inconsistency replica** コマンドを使用します。コンフィギュレーションの不一致があるかどうかを確認するには、**show configuration inconsistency replica** コマンドを使用します。

管理プレーン コンフィギュレーションのコンフィギュレーションの不一致をクリアするには、管理 EXEC モードで **clear configuration inconsistency replica** コマンドを入力します。

SDR コンフィギュレーションのコンフィギュレーションの不一致をクリアするには、その SDR の EXEC モードで **clear configuration inconsistency replica** コマンドを入力します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	実行

例

次の例は、EXEC モードで **clear configuration inconsistency replica** コマンドを使用して、DSC コンフィギュレーションのコンフィギュレーションの不一致をクリアする方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# clear configuration inconsistency replica location 0/rp1/cpu0
The replica has been repaired.
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration inconsistency replica , (127 ページ)	スタンバイ ノードのコンフィギュレーションのあらゆる不一致を表示します。

clear configuration sessions

アクティブなコンフィギュレーションセッションをクリア（終了）するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **clear configuration sessions** コマンドを使用します。

clear configuration sessions *session-id*

構文の説明

session-id 終了するコンフィギュレーションセッションの ID。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

コンフィギュレーションセッションをクリアするには、**clear configuration sessions** コマンドを使用します。このコマンドを使用すると、別のユーザのコンフィギュレーションセッションを終了できます。ユーザのターゲットコンフィギュレーションへのコミットされていない変更は廃棄されません。

アクティブなコンフィギュレーションセッションを識別するには、**show configuration sessions** コマンドを使用します。

コンフィギュレーションセッションがクリアされると、コンフィギュレーションセッションが終了したユーザの端末にメッセージが表示されます。例：

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# This configuration session was terminated by user 'user_a'
from line 'aux0_0_CPU0'
```

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	実行

例

次に、アクティブなコンフィギュレーションセッションをクリアする例を示します。この例では、**show configuration sessions** コマンドでアクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。**clear configuration sessions** コマンドでアクティブなコンフィギュレーションセッションをクリアします。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration sessions
Current Configuration Session  Line          User          Date          Lock
00000211-002c409b-00000000    con0_RSP1_CPU0 UNKNOWN      Mon Feb  2 01:02:09 2009

RP/0/RSP0/CPU0:router# clear configuration sessions 00000211-002c409b-00000000
session ID '00000211-002cb09b-00000000' terminated
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration sessions, (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。

commit

ターゲットコンフィギュレーションをアクティブな（実行）コンフィギュレーションにコミットするには、任意のコンフィギュレーションモードで **commit** コマンドを使用します。

commit [**best-effort**] [**comment line**] [**confirmed** [*seconds*| **minutes** *minutes*]] [**force**] [**label line**] [**replace**] [**save-running filename** *file_path*]

構文の説明

best-effort	(任意) ターゲットコンフィギュレーションと実行コンフィギュレーションを結合し、有効な変更だけをコミットします (ベストエフォート)。セマンティックエラーが原因で、一部の設定変更は失敗する場合があります。
comment line	(任意) コミット内容にコメントを割り当てます。このテキストコメントは、オプションの detail キーワードを指定して show configuration commit list コマンドを実行した場合の出力に表示されるコミットエントリに表示されます。
confirmed [<i>seconds</i> minutes <i>minutes</i>]	(任意) 秒単位または分単位で指定された時間に合わせて設定を試験的にコミットします。 (注) confirmed オプションは、管理コンフィギュレーションモードでは使用できません。
force	(任意) メモリ不足の条件で強制的にコミット動作を実行します。
label line	(任意) 意味のあるラベルを割り当てます。このラベルは、自動生成されたコミット ID の代わりに show configuration commit list の出力に表示されます。
replace	(任意) 実行コンフィギュレーション全体をターゲットコンフィギュレーションの内容に置き換えます。
save-running filename <i>file_path</i>	(任意) 指定したファイルに実行コンフィギュレーションを保存します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作は疑似アトミックです。つまり、コミット動作全体が成功するためには、すべての変更が成功する必要があります。エラーが検出された場合、コンフィギュレーションの変更はすべて無効になります。

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

コンフィギュレーションセッション中に行われた変更は、**commit** コマンドが入力されるまで非アクティブです。デフォルトでは、コミット動作は疑似アトミックです。つまり、コミット動作全体が成功するためには、すべての変更が成功する必要があります。エラーが検出された場合、コンフィギュレーションの変更はすべて無効になります。

コミットのデフォルトの数値 ID を置き換えるには、オプションの **label** キーワードを使用します。このラベルは、自動生成されたコミット ID の代わりに **show configuration commit list** コマンドの出力に表示されます。

コミットアクションに関する追加情報を提供するには、**comment** キーワードを使用してオプションのコメントを入力します。コメントは、**detail** キーワードを指定した **show configuration commit list** コマンドの出力に表示されます。

コンフィギュレーションを最小で 30 秒、最大で 300 秒 (5 分) 試験的にコミットするには、オプションの **confirmed minutes** キーワードおよび引数を使用します。試験的なコンフィギュレーション期間中に、設定を確認するには、**commit** コマンドを入力します。**commit** コマンドを入力しない場合は、試験期間が過ぎると自動的に以前の設定に戻ります。**confirmed** オプションは、管理コンフィギュレーション モードでは使用できません。

commit コマンドは、**load** コマンドとともに使用できます。新しいコンフィギュレーションを **load** コマンドでロードし、**commit** コマンドを **replace** キーワードを指定して使用すると、ロードしたコンフィギュレーションがアクティブな (実行) コンフィギュレーションになります。

実行コンフィギュレーションを指定のファイルに保存するには、オプションとして **save-running filename file_path** キーワードと引数を使用します。コンフィギュレーション ファイルをコミットごとに自動保存するには、**configuration commit auto-save** コマンドを使用します。コンフィギュレーションファイルの自動保存がすでにイネーブルに設定されている場合は、**save-running filename file_path** を指定して **commit** コマンドを実行しても何も影響はありません。



注意

実行コンフィギュレーションのファイル保存により、CPU の負荷が高くなります。



(注)

ターゲットのコンフィギュレーションをロードせずに **commit** コマンドを使用すると、ブランクのコンフィギュレーションがコミットされます。



(注)

replace キーワードを指定して **commit** コマンドを使用した場合、8 ポート E1/T1 SPA のモードには影響しません。 **commit replace** コマンドを使用する前のモードが E1 の場合は、E1 のままです。ただし、デフォルトモードは T1 であるため、ルータではモードが E1 であることを認識しません。モードを T1 に変更するには、最初に **hw-module subslot cardtype e1** コマンドを使用してコンフィギュレーションに E1 モードを追加することにより、システムと相互に関連付ける必要があります。次にルータを手動でリロードすると、T1 モードで起動します。

hw-module subslot cardtype コマンドの詳細については、『Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router Interface and Hardware Component Command Reference』を参照してください。

タスク ID

タスク ID

操作

コマンドの影響を受ける機能またはコンフィギュレーションモードのタスク ID

コマンドの影響を受ける機能またはコンフィギュレーションモードの動作

例

次に、ターゲット コンフィギュレーションをアクティブな実行コンフィギュレーションへコミットする例を示します。この例の **commit** コマンドでは、ルータのホスト名に対する変更が保存されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# hostname router1
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# commit

RP/0/RSP0/CPU0:Feb 21 04:42:57.017 : config[65689]: %MGBL-LIBTARCFG-6-COMMIT :
Configuration committed by user 'user_a'.
Use 'show configuration commit changes 1000000033' to view the changes.
```

例

次の例は、**commit** コマンドをオプションの **comment line** キーワードと引数を指定して使用することで、説明テキストをコミット動作に割り当てる方法を示します。コメントは、**detail** キーワードを指定した **show configuration commit list** コマンドの出力に表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# hostname router2
```

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# commit comment new name for router

RP/0/RP0/CPU0:Feb 21 04:42:57.017 : config[65689]: %MGBL-LIBTARCFG-6-COMMIT :
Configuration committed by user 'user_a'. Use 'show configuration commit
changes 1000000226' to view the changes.

RP/0/RSP0/CPU0:router2(config)# end
RP/0/RSP0/CPU0:router2# show configuration commit list detail

1) CommitId: 1000000226                Label: NONE
   UserId:   user_a                    Line:   con0_RP1_CPU0
   Client:   CLI                       Time:   12:59:26 UTC Wed Feb 04 2004
   Comment:  new name for router

2) CommitId: 1000000225                Label: NONE
   UserId:   user_a                    Line:   con0_RP1_CPU0
   Client:   CLI                       Time:   12:58:32 UTC Wed Feb 04 2004
   Comment:  NONE
```

例

次の例は、**commit** コマンドをオプションの **label line** キーワードと引数を指定して使用することで、コミットIDをテキストラベルに変更して識別を容易にする方法を示します。このラベルは、**show configuration commit list** コマンドの出力に表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router2# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router2(config)# hostname router3
RP/0/RSP0/CPU0:router2(config)# commit label new_name

RP/0/RP0/CPU0:Feb 21 04:42:57.017 : config[65689]: %MGBL-LIBTARCFG-6-COMMIT :
Configuration committed by user 'user_a'.
Use 'show configuration commit changes 1000000227' to view the changes.

RP/0/RSP0/CPU0:router3(config)# end
RP/0/RSP0/CPU0:router3# show configuration commit list

SNo. Label/ID      User      Line      Client      Time Stamp
~~~~ ~~~~~~
1    new_name      user_a    con0_RSP1_C  CLI        13:00:53 UTC Wed Feb 04 2004
2    1000000226    user_a    con0_RSP1_C  CLI        12:59:26 UTC Wed Feb 04 2004
3    1000000225    user_a    con0_RSP1_C  CLI        12:58:32 UTC Wed Feb 04 2004
```

例

次の例は、**commit** コマンドに、オプションとして **confirmed** キーワードと *number* 引数を指定して使用する方法を示します。コンフィギュレーションの変更は、指定の秒数だけコミットされず。その後、コミット動作を確定するか、変更を廃棄できます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# hostname router3
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# commit confirmed 30
RP/0/RSP0/CPU0:router3(config)# end
```

関連コマンド

コマンド	説明
abort , (4 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションへの変更を保存せずにコンフィギュレーションセッションを終了します。

コマンド	説明
configuration commit auto-save, (29 ページ)	(実行コンフィギュレーションがコミットごとに指定のファイルに自動保存されるように設定します。
end, (38 ページ)	セッションを終了し、あらゆるコンフィギュレーションモードの状態にあるルータを EXEC モードへ戻します。
exit, (42 ページ)	現在のコンフィギュレーションモードを終了して次の高度なコマンドモードを開始するか、端末セッションからログアウトします。
load, (47 ページ)	ターゲットコンフィギュレーションに、それまでに保存されているコンフィギュレーションファイルの内容を入力します。
show configuration rollback changes, (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

configuration commit auto-save

実行コンフィギュレーションがコミットごとに指定のファイルに自動保存される設定をイネーブ
ルにするには、グローバル コンフィギュレーションモードで **configuration commit auto-save** コマ
ンドを使用します。実行コンフィギュレーションがコミットごとに指定のファイルに自動保存さ
れる設定をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。



注意

実行コンフィギュレーションのファイル保存により、CPU の負荷が高くなります。

configuration commit auto-save filename file_path

no configuration commit auto-save

構文の説明

filename file_path

実行コンフィギュレーションを保存する場所を指定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース

変更箇所

リリース 3.7.2

このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユー
ザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用
できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

configuration commit auto-save コマンドは、**commit** コマンドが実行されるたびに、実行コンフィ
ギュレーションが指定のファイルと場所に保存されるようにシステムを設定します。または、
commit コマンドの実行時に **save-running** キーワードを指定することで、コンフィギュレーション
を一度に保存することもできます。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	書き込み

例

次の例は、**commit** コマンドが使用されるたびに、実行コンフィギュレーションが disk0:/usr ファイルに保存されるようにシステムを設定する方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# configuration commit auto-save filename disk0:/usr
```

関連コマンド

コマンド	説明
commit , (24 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションに結合します。

configure

グローバル コンフィギュレーション モードまたは管理コンフィギュレーション モードを開始するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **configure** コマンドを使用します。

configure [exclusive| terminal]

構文の説明

exclusive	(任意) ルータ コンフィギュレーションをロックします。システム コンフィギュレーションはログイン端末からに限り実行できます。
terminal	(任意) ログイン端末からシステムを設定します。これはデフォルトです。

コマンド デフォルト

configure コマンドがキーワードを指定せずに入力された場合、システムはログイン端末から設定されます。

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

コンフィギュレーション モードは、ターゲット コンフィギュレーション セッションに変更を入力し、それらの変更を実行コンフィギュレーションにコミットするために使用します。Cisco IOS XR ソフトウェアを実行しているルータには、複数のコンフィギュレーションが含まれています。

- ルータを開始したときに修正される独自のコンフィギュレーションが含まれています。このモードは、ルーティング プロトコルなどの ルータ 固有の機能を設定するために使用されません。
- システム全体のリソースと設定のための管理コンフィギュレーション。一部の機能は、管理コンフィギュレーション モードだけで設定できます。

グローバル コンフィギュレーション モード

EXEC モードで **configure** コマンドを使用してグローバル コンフィギュレーション モードを開始し、SDR の新しいターゲット コンフィギュレーションを作成します。グローバル コンフィギュレーション モードから任意のコンフィギュレーション モードを開始できます。グローバル コンフィギュレーション モードで入力されたコンフィギュレーションの変更は、ユーザが現在ログインしている SDR に影響を与えます。

管理コンフィギュレーション モード

管理EXECモードで **configure** コマンドを使用して管理コンフィギュレーションモードを開始し、新しいターゲット コンフィギュレーションを作成します。管理コンフィギュレーション モードからすべての管理コンフィギュレーションモードを開始できます。管理コンフィギュレーション モードで入力されたコンフィギュレーションの変更は、ルータ全体のリソースに影響を与えます。管理コンフィギュレーションモードで入力されたコマンドの影響を判断するには、特定のコマンドのコマンドリファレンス マニュアルを参照してください。

Router プロンプト

configure コマンドの入力後、システムは router プロンプトに「(config)」を付加し、ルータがコンフィギュレーションモードであることを示します。例：

- 次のプロンプトは、SDR のグローバル コンフィギュレーション モードであることを示します。
RP/0/RSP0/CPU0:router (config)#
- 次のプロンプトは、管理コンフィギュレーション モードであることを示します。
RP/0/RSP0/CPU0:router (admin-config)#

コンフィギュレーションセッションのロック

コンフィギュレーションをロックして、コンフィギュレーションセッション中に他のユーザが実行コンフィギュレーションへの変更をコミットできないようにするには、**exclusive** キーワードを指定して **configure** コマンドを発行します。

変更をコミットして EXEC モードまたは管理 EXEC モードへ戻る

ターゲットコンフィギュレーションへの変更は、**commit** コマンドが入力されるまでは非アクティブの状態になります。グローバル コンフィギュレーション モードまたは管理コンフィギュレーションモードを終了して EXEC プロンプトまたは管理 EXEC プロンプトへ戻るには、**end** コマンドまたは **exit** コマンドを発行します。コミットしていないすべての変更については、コミットするようにシステムから要求されます。

変更のコミットを要求されず、ターゲット コンフィギュレーションへの変更を保存することもなく、コンフィギュレーションモードを終了して直接 EXEC モードまたは管理 EXEC モードへ戻るには、任意のコンフィギュレーションモードで **abort** コマンドを入力します。

例

次の例は、EXEC モードからグローバル コンフィギュレーション モードを開始し、さらにギガビットイーサネット インターフェイス 0/1/0/0 の IPv4 アドレスを設定するためにインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始する方法を示します。この例では、**configure** コマンドがコンフィギュレーションをコミットし、**end** コマンドがコンフィギュレーションセッションを終了して、ルータを EXEC モードへ戻します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface gigabitethernet 0/1/0/0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# ipv4 address 1.1.1.1 255.0.0.0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# commit
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# end
RP/0/RSP0/CPU0:router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
abort , (4 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションへの変更を保存せずにコンフィギュレーションセッションを終了します。
end , (38 ページ)	セッションを終了し、あらゆるコンフィギュレーションモードの状態にあるルータを EXEC モードへ戻します。
exit , (42 ページ)	現在のコンフィギュレーションモードを終了して次の高度なコマンドモードを開始するか、端末セッションからログアウトします。
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

description (インターフェイス)

インターフェイス コンフィギュレーションに説明を追加するには、インターフェイス コンフィギュレーションモードで **description** コマンドを使用します。説明を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

description comment

no description

構文の説明

<i>comment</i>	インターフェイスに適用されたコメントまたは説明。最大文字数は 1022 です。
----------------	---

コマンド デフォルト

説明は設定されていません。

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

インターフェイス コンフィギュレーションに説明を追加するには、**description** コマンドを使用します。最大文字数は 1022 です。

タスク ID

タスク ID	操作
interface	読み取り、書き込み

例

次に、インターフェイスコンフィギュレーションに説明を追加する例を示します。この例では、**description** コマンドが管理イーサネットインターフェイスを命名しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface mgmteth 0/
RSP
1/CPU0/0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# description Management Ethernet Interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
show interfaces	ルータまたはアクセスサーバで設定されているすべてのインターフェイスの統計情報を表示します。

例

次に、インターフェイス コンフィギュレーションモードから EXEC コマンドを実行する例を示します。この例では、**do** コマンドが、インターフェイス コンフィギュレーションモード内で **show protocols** コマンドからの出力を表示しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface gigabitethernet 0/1/0/1
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# do show protocols
```

```
Routing Protocol "BGP 1"
```

```
Address Family IPv4 Unicast:
```

```
Distance: external 20 internal 200 local 200
```

end

コンフィギュレーションセッションを終了して直接 EXEC モードまたは管理 EXEC モードへ戻るには、任意のコンフィギュレーション モードで **end** コマンドを使用します。

end

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

任意のコンフィギュレーション モードを終了して直接 EXEC モードまたは管理 EXEC モードへ戻るには、**end** コマンドを使用します。ターゲット コンフィギュレーションへの変更をコミットせずにこのコマンドを入力すると、変更をコミットするように要求されます。

Uncommitted changes found, commit them before exiting(yes/no/cancel)?[cancel]:

- **yes** を入力すると、実行コンフィギュレーション ファイルへコンフィギュレーションの変更が保存され、ルータが EXEC モードまたは管理 EXEC モードへ戻ります。実行コンフィギュレーションでエラーが検出された場合、コンフィギュレーションセッションは終了しません。エラーを表示するには、**failed** キーワードを指定した **show configuration (config)** コマンドを入力します。
- **no** を入力すると、コンフィギュレーションセッションが終了し、コンフィギュレーションの変更をコミットせずに、ルータが EXEC モードまたは管理 EXEC モードへ戻ります。
- **cancel** と入力すると、現在のコンフィギュレーションセッションが継続します。コンフィギュレーションセッションは終了せず、設定変更もコミットされません。



(注) **Ctrl+Z** の入力、**end** コマンドの入力と機能的に同等のものとなります。

変更のコミットを要求されずに、およびターゲット コンフィギュレーションへの変更を保存せずにコンフィギュレーションセッションを終了して EXEC モードまたは管理 EXEC モードへ戻るには、**abort** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り、書き込み

例

次に、**end** コマンドを使用してコンフィギュレーションセッションを終了させる例を示します。ターゲット コンフィギュレーションに格納された変更は、**yes** と答えることでコミットされます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface gigabitethernet 0/2/0/0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# ipv4 address 1.1.1.1 255.0.0.0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# end

Uncommitted changes found, commit them before exiting(yes/no/cancel)? [cancel]: yes
RP/0/RSP0/CPU0:router#
```

関連コマンド

コマンド	説明
abort , (4 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションへの変更を保存せずにコンフィギュレーションセッションを終了します。
commit , (24 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションに結合します。
exit , (42 ページ)	現在のコンフィギュレーション モードを終了して次の高度なコマンドモードを開始するか、端末セッションからログアウトします。
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。

end-template

テンプレート コンフィギュレーションモードを終了してグローバルコンフィギュレーションモードへ戻るには、テンプレート コンフィギュレーションモードで **end-template** コマンドを使用します。

end-template

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

テンプレート コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

テンプレートの定義が完了したあとにテンプレート コンフィギュレーションモードを終了するには、**end-template** コマンドを使用します。

テンプレートを定義するには、**template** コマンドを使用します。ターゲット コンフィギュレーションにテンプレートを適用するには、**apply-template** コマンドを使用します。テンプレートの内容を表示するには、オプションの **template template-name** キーワードおよび引数を指定して **show running-config** コマンドを使用します。To

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り、書き込み

例

次の例は、テンプレート コンフィギュレーション モードを開始し、「hostname-template」という名前のテンプレートを定義し、その後テンプレートコンフィギュレーションモードを終了する方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# template hostname-template
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-TPL)# hostname router-cs1
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-TPL)# end-template
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
end , (38 ページ)	セッションを終了し、あらゆるコンフィギュレーション モードの状態にあるルータを EXEC モードへ戻します。

exit

アクティブなターミナルセッションを終了してルータをログオフするには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **exit** コマンドを使用します。

ルータを次に高度なコンフィギュレーションモードへ戻すには、任意のコンフィギュレーションモードで **exit** コマンドを使用します。

exit

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
任意のコンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

端末セッションからログオフするには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **exit** コマンドを入力します。

グローバル コンフィギュレーション モードまたは管理コンフィギュレーション モードを終了して、EXEC モードまたは管理 EXEC モードを開始しようとする時、コミットしていない任意のコンフィギュレーションの変更をコミットするように要求されます。

```
Uncommitted changes found, commit them before exiting(yes/no/cancel)?[cancel]:
```

- **yes** を入力すると、実行コンフィギュレーション ファイルへコンフィギュレーションの変更が保存され、コンフィギュレーションセッションを終了して、ルータがEXECモードまたは管理 EXEC モードへ戻ります。

実行コンフィギュレーションでエラーが検出された場合、コンフィギュレーションセッションは終了しません。エラーを表示するには、**failed** キーワードを指定した **show configuration (config)** コマンドを入力します。

- **no** を入力すると、コンフィギュレーションセッションが終了し、コンフィギュレーションの変更をコミットせずに、ルータが EXEC モードまたは管理 EXEC モードへ戻ります。
- **cancel** と入力すると、ルータは現在のコンフィギュレーションセッションで継続されます。コンフィギュレーションセッションは終了せず、設定変更もコミットされません。



(注) グローバル コンフィギュレーション モードからの **exit** コマンドの入力は、**end** コマンドの入力と機能的に同等となります。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り、書き込み

例

次に、ルータを次に高度なコマンドモードへ戻す例を示します。この例では、**exit** コマンドがインターフェイス コンフィギュレーション モードを終了して、グローバル コンフィギュレーション モードへ戻ります。グローバル コンフィギュレーション モードを終了して EXEC モードへ戻るために、**exit** コマンドが 2 度入力されます。コンフィギュレーションは (**commit** コマンドを使用して) 明示的にコミットされていないため、システムは、セッション中に発生したコンフィギュレーションの変更をコミットするよう要求します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface tengige 0/2/0/0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# ipv4 address 1.1.1.1 255.0.0.0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# exit
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# exit
Uncommitted changes found, commit them before exiting(yes/no/cancel)?[cancel]: yes
```

次に、EXEC モードから **exit** コマンドを使用して端末セッションからログオフする例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# exit
router con0_RP1_CPU0 is now available
Press RETURN to get started.
```

関連コマンド

コマンド	説明
abort, (4 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションへの変更を保存せずにコンフィギュレーションセッションを終了します。

コマンド	説明
commit , (24 ページ)	ターゲットコンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションに結合します。
end , (38 ページ)	セッションを終了し、あらゆるコンフィギュレーションモードの状態にあるルータを EXEC モードへ戻します。

hostname

ルータのホスト名を指定または変更するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **hostname** コマンドを使用します。

hostname *name*

構文の説明

name ルータの新しいホスト名。

コマンド デフォルト

出荷時に割り当てられるデフォルトのホスト名は、「ios」です。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

ホスト名は、プロンプトとデフォルトのコンフィギュレーション ファイル名で使用されます。

名前の一部に空白またはスペースは使用できません。大文字小文字は区別されないものと思ってください。大文字と小文字は、多くのインターネット ソフトウェア アプリケーションで同じものとして扱われます。名前は英語と同様に大文字で始めるのが適切であるように思われますが、規則によりコンピュータ名はすべて小文字で表示されます。詳細については、RFC1178 の「*Choosing a Name for Your Computer*」を参照してください。

タスク ID

タスク ID	操作
root-lr	読み取り、書き込み

例 次に、ルータのホスト名を変更する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# hostname router1
```

load

事前に保存されたコンフィギュレーションファイルの内容をターゲットコンフィギュレーションに入力するには、グローバルコンフィギュレーションモードまたは管理コンフィギュレーションモードで **load** コマンドを使用します。

load *device:directory-path*

構文の説明

<i>device: directory-path</i>	ターゲットコンフィギュレーションにロードするコンフィギュレーションファイルのストレージデバイスとディレクトリパス。
-------------------------------	---

コマンド デフォルト

ファイルのフルパスが指定されていない場合、現在稼働中のディレクトリが使用されます。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

事前に保存されたコンフィギュレーションの内容をターゲットコンフィギュレーションに入力するには、**load** コマンドを使用します。ファイルのロード時、コンフィギュレーションファイルのデバイス、ディレクトリパス、およびファイル名を指定する必要があります。

commit コマンドを **load** コマンドとともに使用します。新しいコンフィギュレーションを **load** コマンドでロードし、**commit** コマンドを **replace** キーワードを指定して使用すると、ロードしたコンフィギュレーションがアクティブな（実行）コンフィギュレーションになります。

最後のロード時に発生した構文エラーを表示するには、オプションの **load** キーワードを指定して **show configuration failed** (config) コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り、書き込み

例

次に、ターゲット コンフィギュレーション ファイルを現在のコンフィギュレーション セッションにロードする例を示します。現在のコンフィギュレーション セッションは、そのファイルの内容で入力されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# load disk1:myconfig.cfg
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# show config

Building configuration...
interface TenGigE 0/3/0/0
  description My 10 GE Interface
  ipv4 address 10.10.11.20 255.0.0.0
!
end
```

関連コマンド

コマンド	説明
commit , (24 ページ)	ターゲット コンフィギュレーション を実行コンフィギュレーション に結合します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーション に関する情報を表示します。

load commit changes

前回コミットしたコンフィギュレーションの変更をターゲットコンフィギュレーションに入力するには、グローバルコンフィギュレーションモードまたは管理コンフィギュレーションモードで **load commit changes** コマンドを使用します。

load commit changes {*commit-id*| **since** *commit-id*| **last** *number-of-commits*}

構文の説明

<i>commit-id</i>	特定のコンフィギュレーションのコミット。
since <i>commit-id</i>	特定のコンフィギュレーションのコミットである <i>commit-id</i> の実行時とそれ以降にターゲットバッファにコミットされた任意のコンフィギュレーションの変更をロードします。
last <i>number-of-commits</i>	<i>number-of-commits</i> 引数に指定されたコンフィギュレーションのコミット回数で最後に実行されコンフィギュレーションの変更を、ターゲットバッファにロードします。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバルコンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

前回コミットしたコンフィギュレーションの変更をターゲットコンフィギュレーションに入力するには、**load commit changes** コマンドを使用します。変更は、**commit** コマンドを入力するまで適用されません。

ターゲット コンフィギュレーションを表示するには、**show configuration** (config) コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り、書き込み

例

次に、前回コミットされたコンフィギュレーションの変更をターゲット コンフィギュレーションに入力する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# load commit changes since 1000000006
Building configuration...
Loading.
223 bytes parsed in 1 sec (222)bytes/sec
```

load configuration failed

前回コミットに失敗したコンフィギュレーションの内容をターゲットコンフィギュレーションに入力するには、グローバルコンフィギュレーションモードまたは管理コンフィギュレーションモードで **load configuration failed** コマンドを使用します。

load configuration failed {commit|startup [*previous number-of-reloads*] [noerror]}

構文の説明

commit	最後にコミットに失敗したコンフィギュレーションをロードします。
startup	スタートアップコンフィギュレーションで失敗したコンフィギュレーションをロードします。
previous number-of-reloads	(任意) 前回のルータのリロードで失敗したコンフィギュレーションをロードします。有効な <i>number-of-reloads</i> 値は 1 ~ 4 です。
noerror	(任意) 失敗したコンフィギュレーションがロードされるときに、エラーの理由を除外します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバルコンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

前回コミットに失敗したコンフィギュレーションの内容をターゲットコンフィギュレーションに入力するには、**load configuration failed** コマンドを使用します。

タスク ID	タスク ID	操作
	config-services	読み取り、書き込み

例 次に、前回コミットに失敗したコンフィギュレーションの内容をターゲット コンフィギュレーションに入力する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router (config)# load configuration failed
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。

load configuration removed

以前に削除されたコンフィギュレーションの内容をターゲットコンフィギュレーションに入力するには、グローバルコンフィギュレーションまたは管理コンフィギュレーションモードで **load configuration removed** コマンドを使用します。

load configuration removed *config-id*

構文の説明

<i>config-id</i>	ロードの対象となる削除されたコンフィギュレーションの ID。
------------------	--------------------------------

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

インストール動作中に削除されたコンフィギュレーションの内容をターゲットコンフィギュレーションに入力するには、**load configuration removed** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り、書き込み

load configuration removed

例

次に、インストール中に削除されたコンフィギュレーションの内容をターゲット コンフィギュレーションに入力する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router (config)# load configuration removed 20070316021626.cfg
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration persistent , (129 ページ)	インストール動作中に削除されたコンフィギュレーションを表示します。

load rollback changes

以前のコンフィギュレーションの内容をターゲット コンフィギュレーションに入力するには、グローバル コンフィギュレーションまたは管理コンフィギュレーション モードで **load rollback changes** コマンドを使用します。

load rollback changes {*commit-id*| **last** *number-of-commits*| **to** *commit-id*}

構文の説明

<i>commit-id</i>	特定のコンフィギュレーションコミットによるコンフィギュレーションの変更をロールバックします。
last <i>number-of-commits</i>	直近の (<i>number-of-commits</i> 引数で指定された) 回数コミットを実行する前のコンフィギュレーションにロールバックします。
to <i>commit-id</i>	<i>commit-id</i> 引数によって指定されるコンフィギュレーションの前の実行コンフィギュレーションにロールバックします。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

ロールバック コンフィギュレーションの変更をターゲット コンフィギュレーションにロードするには、**load rollback changes** コマンドを使用します。このコマンドは、**rollback configuration** コマンドと類似しています。これらのコマンドの違いは、**load rollback changes** コマンドが、ロールバックの変更をターゲット コンフィギュレーションにコピーし、**commit** コマンドによって変更が明示的にコミットされるまでは、変更をコミットしない点にあります。

ロールバックの変更を表示するには、**show configuration rollback changes** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り、書き込み

例

次に、以前のコンフィギュレーションの内容をターゲット コンフィギュレーションに入力する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# load rollback changes 1000000004
Building configuration...
Loading.
302 bytes parsed in 1 sec (301)bytes/sec
```

man

Cisco IOS XR ソフトウェアは、マニュアル (man) ページを使用して、標準のコマンドライン インターフェイス (CLI) コマンドのオンラインヘルプを提供します。マニュアルページを表示するには、EXEC モードで **man** コマンドを使用します。

man {**command** *command-name*| **feature** [*feature-name*]| **keyword** *keywords*}

構文の説明

command <i>command-name</i>	特定のコマンドのマニュアル ページを表示します。 <i>command-name</i> 引数には完全なコマンド名が含まれていなければなりません。
feature [<i>feature-name</i>]	機能で使用できるすべてのコマンドを表示します。使用可能な機能名を表示するには、 feature キーワードと man コマンドを使用します。
keyword <i>keywords</i>	キーワードと一致するコマンド名のリストを表示します。コマンド内で一致を検索する 1 つまたは複数のキーワードを入力します。複数のキーワードを入力する場合は、コマンド内と同じ順序でキーワードを入力する必要があります。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

man コマンドを使用する前に、Package Installation Envelope (PIE; パッケージインストール エンベロープ) ドキュメンテーションをインストールしておく必要があります。PIE ドキュメン

テーションをインストールしないでこのコマンドを実行しようとすると、次の例のようなエラーが表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# man command show install

Building index table...
Warning. Unable to get directory info for '/pkg/man' :No such file or directory.
Discarding!
man [5521656]:Building index table failed. No entries found
```

任意のソフトウェア PIE のインストールについては、『Cisco ASR 9000 Series Aggregation Services Router System Management Configuration Guide』の「Upgrading and Managing Cisco IOS XR Software」モジュールを参照してください。

コマンド名、機能、またはキーワードに基づいて特定のコマンドのマニュアルページを表示するには、**man** コマンドを使用します。各マニュアルページには、コマンド名、構文、コマンドモード、使用方法、例、関連コマンドが含まれます。

man コマンドはクエリーを実行し、ルータに関するコマンド情報を表示します。キーワードまたは機能に基づくクエリーを実行できます。機能に一致するすべてのコマンドを表示するには、**feature feature-name** キーワードおよび引数を使用します。たとえば、**man feature asr9k-base-1** と入力すると、**asr9k-base-1** 機能に一致するすべてのコマンドが表示されます。**keyword keywords** キーワードおよび引数を使用すると、指定したキーワードが含まれるすべてのコマンドが表示されます。たとえば、**man keyword ipv4** と入力すると、**ipv4** が含まれるすべてのコマンドが表示されます。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り

例

次に、**arp timeout** コマンドのマニュアルページを表示する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# man command arp timeout

COMMAND
arp timeout

DESCRIPTION

To specify how long dynamic entries learned on an interface remain in the
Address Resolution Protocol (ARP) cache, use the arp timeout command in
interface configuration mode. To remove the arp timeout command from the
configuration file and restore the system to its default condition with
respect to this command, use the no form of this command.

arp timeout seconds

no arp timeout<seconds>

SYNTAX DESCRIPTION

seconds
Time, in seconds, for which an entry remains in the ARP cache. The
```

range is from 0 to 4294967. A value of 0 means that entries are never cleared from the cache. The default is 14400.

DEFAULTS

Entries remain in the ARP cache for 14400 seconds (4 hours).

COMMAND MODES

Interface configuration

COMMAND HISTORY

Release
Modification

Release 2.0
This command was introduced.

USAGE GUIDELINES

To use the arp timeout command, you must be a member of a user group associated with the cef task ID.

For detailed information about user groups and task IDs, refer to the Configuring AAA Services on Cisco IOS-XR Software module of the Cisco IOS-XR System Security Configuration Guide.

This command is ignored when issued on interfaces that do not use ARP. Also, ARP entries that correspond to the local interface or that are statically configured by the user never time out.

The show interfaces command displays the ARP timeout value in hours:minutes:seconds, as follows:

```
* * * * * START OF LISTING * * * * *
ARP type: ARPA, ARP Timeout 04:00:00
* * * * * END OF LISTING * * * * *
```

EXAMPLES

The following example shows how to set the ARP timeout to 3600 seconds to allow more entries to time out more quickly than the default:

```
* * * * * START OF LISTING * * * * *
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface MgmtEth 0/RP1/CPU0/0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# arp timeout 3600
* * * * * END OF LISTING * * * * *
```

RELATED COMMANDS

Command
Description

clear arp-cache
Deletes all dynamic entries from the ARP cache.

show arp (cache)
Displays the entries in the ARP table.

show interfaces
Displays statistics for all interfaces configured on the networking device.

more

ファイルの内容を表示するには、EXEC または管理 EXEC モードで **more** コマンドを使用します。

```
more [/ascii|/binary|/ebcdic] filesystem:directory-path location [node-id| all] { | begin regular-expression | exclude regular-expression | | include regular-expression }
```

構文の説明

/ascii	(任意) バイナリ ファイルを ASCII 形式で表示します。
/binary	(任意) ファイルを 16 進数表記またはテキスト形式で表示します。
/ebcdic	(任意) バイナリ ファイルを ebcdic 形式で表示します。
<i>filesystem:directory-path</i>	表示するファイルのファイル システムの場所。 <i>filesystem</i> 引数のファイル システム エイリアスと、そのあとに続くコロン、さらに表示するファイルのディレクトリ パスが含まれます。
location [<i>node-id</i> all]	(任意) 指定したノードまたはすべてのノードについて、ファイルの内容を表示します。
<i>regular-expression</i>	(任意) ファイルに見られる正規表現。
	縦棒 (「パイプ」記号) は、そのあとに出力処理の指定が続くことを示します。
begin	(任意) 正規表現が含まれる最初の行から、 more コマンドのフィルタリングされていない出力を開始します。
exclude	(任意) 正規表現が含まれない出力行を表示します。
include	(任意) 正規表現が含まれる出力行を表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC
 管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

特にルータ上に保存されている、またはネットワークを介してアクセスできる ASCII ファイルなどの任意のテキスト ファイルを表示するには、**more** コマンドを使用します。ファイルは、コンフィギュレーション ファイルでも、その他の任意のテキスト ファイルでもかまいません。

出力のフィルタリング

この表は、**more** コマンドによって表示される出力のフィルタ オプションを示します。

表 1: フィルタリング オプション

コマンド	目的
more filesystem: begin <i>regular-expression</i>	正規表現が含まれる最初の行から、 more コマンドのフィルタリングされていない出力を開始します。
more filesystem: exclude <i>regular-expression</i>	正規表現を含まない出力行を表示します。
more filesystem: include <i>regular-expression</i>	正規表現を含む出力行を表示します。

--More-- プロンプトでのフィルタの追加

more コマンドによる出力の --More-- プロンプトにフィルタを指定することもできます。--More-- プロンプトから出力をフィルタリングするには、スラッシュ (/) と、そのあとに正規表現を入力します。フィルタは、コマンド出力が完了するか、または (Ctrl-Z または Ctrl-C を使用して) 中断されるまでアクティブな状態のままです。

- フィルタが元のコマンドですでに指定されている場合、またはそれまでの --More-- プロンプトで指定されている場合は、2 番目のフィルタを指定できません。
- 正規表現の前にマイナス符号 (-) を使用すると、その正規表現が含まれない出力行が表示されます。
- 正規表現の前にプラス符号 (+) を使用すると、その正規表現が含まれる出力行が表示されます。



(注) **more** コマンドにフィルタを指定した後は、次の **--More--** プロンプトで別のフィルタを指定できません。最初に指定されたフィルタは、**more begin** コマンドによる出力が完了するまで、または出力が中断されるまで維持されます。キーワードの使用はフィルタの構成要素ではありません。

タスク ID

タスク ID	操作
filesystem	実行

例

次の例は、**more** コマンドの出力例の一部を示します。出力には、ハードディスクドライブに保存されたコンフィギュレーションファイルが表示されます。

```

ルータ# more harddisk:/user/alternate.cfg

!! Last configuration change at 15:52:55 UTC Fri Feb 13 2009 by UNKNOWN
!
line console
exec-timeout 0 0
!
interface MgmtEth0/RP1/CPU0/0
 ipv4 address 10.32.45.154 255.0.0.0
!
interface TenGigE0/1/0/0
 ipv4 address 10.32.45.155 255.0.0.0
 keepalive disable
!
interface TenGigE0/1/0/1
 ipv4 address 10.32.45.156 255.0.0.0
 keepalive disable
!
interface TenGigE0/1/0/2
 /ip
 ipv4 address 10.32.45.157 255.0.0.0
 keepalive disable
!
interface TenGigE0/1/0/3
 ipv4 address 10.32.45.158 255.0.0.0
 keepalive disable
!
interface TenGigE0/2/0/0
 ipv4 address 10.32.45.159 255.0.0.0
 keepalive disable
!
--More--
    
```

次の例は、**more** コマンドの出力例の一部を示します。出力は、正規表現「ipv4」が含まれる最初の行のフィルタリングされていない出力から始まります。この例では、正規表現「ipv4」が含まれる出力行から開始する新しい検索が指定されています。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# more disk0:config.backup | begin ipv4

ipv4 address 2.2.2.2 255.255.255.255
!
    
```

```

interface TenGigE0/3/1/0
 shutdown
!
interface TenGigE0/3/1/2
 shutdown
!
interface TenGigE0/2/1/0
 ipv4 address 1.1.1.1 255.255.255.0
 keepalive disable
!
interface TenGigE0/2/1/1
 ipv4 address 1.1.1.1 255.255.255.0
 keepalive disable
!
interface TenGigE0/2/1/2
 ipv4 address 1.1.1.1 255.255.255.0
 keepalive disable
!
interface TenGigE0/2/1/3
 shutdown
!
 /ipv4

filtering...
 ipv4 address 1.1.1.1 255.255.255.0
 proxy-arp disable
 shutdown
!
interface TenGigE 0/1/0/0
 ipv4 address 1.1.1.1 255.255.255.0
 proxy-arp disable
!
route ipv4 0.0.0.0/0 12.25.26.5
route ipv4 223.255.254.254/32 12.25.0.1
end

```

次の例は、disk0: のサンプル ファイル config.backup で実行した more コマンドの出力例の一部を示します。このコマンドは more disk0:config.backup | include log のように使用します。--More-- プロンプトで、正規表現「aaa」が含まれる出力行から開始する新しい検索が指定されています。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# more disk0:config.backup | include log

logging trap
logging trap informational
logging console debugging
logging history size 1
.
.
.

/aaa

filtering...
aaa authentication login default none

```

次の例は、more コマンドの出力例の一部を示します。出力では、正規表現「alias」が含まれる行が除外されています。この例では、--More-- プロンプトで、正規表現「ipv4 address」アドレスが含まれる出力行から開始する新しい検索が指定されています。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# more disk0:myconfig/file | exclude alias

Building configuration...
!! Last configuration change at 18:17:00 UTC Thu May 16 2009 by lab
!
hostname router
line console
 exec-timeout 0 0
 width 132

```

more

```

length 0
session-timeout 0
/ipv4 address

filtering...
ipv4 address 10.10.1.1 255.255.255.255
!
interface Loopback200
  ipv4 address 10.20.1.1 255.255.255.255
!
interface TenGigE0/0/0/0
  ipv4 address 10.30.1.1 255.255.0.0
  keepalive 100
!
interface preconfigure TenGigE0/1/0/1
  shutdown
end

```

関連コマンド

コマンド	説明
show, (94 ページ)	システム ステータスとコンフィギュレーションを表示します。

pwd (config)

コンフィギュレーションサブモードから現在のコンフィギュレーションサブモードを表示するには、サポートされている任意のコンフィギュレーションサブモードで **pwd** コマンドを使用します。

pwd

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンドモード

任意のサブコンフィギュレーションモード

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

例

次に、インターフェイス コンフィギュレーションサブモードから **pwd** コマンドを使用する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface tengige 0/6/4/5
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# pwd

interface TenGigE0/6/4/5
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)#
```

rollback configuration

実行コンフィギュレーションを以前のコンフィギュレーションにロールバックするには、EXEC または管理 EXEC モードで **rollback configuration** コマンドを使用します。

rollback configuration {*last number-of-commits*| *to commit-id*} {*best-effort*| **force**} [*label label*] *comment comment*

構文の説明

last *number-of-commits*

直近の (*number-of-commits* 引数で指定された) 回数のコミットを実行する前に存在していたコンフィギュレーションにロールバックします。

to *commit-id*

commit-id 引数によって指定されたコンフィギュレーションの前に存在していた実行コンフィギュレーションにロールバックします。

best-effort

直前の *n* 回のコミットを行う前に存在していたコンフィギュレーションにロールバックし、有効な変更だけコミットします (ベスト エフォート)。セマンティックエラーが原因で、一部の設定変更は失敗する場合があります。

force

(任意) すべてのコミットブロックを上書きするように指定します。

label *label*

(任意) テキストラベルをこのロールバックに割り当てます。*label* 引数の先頭は文字である必要があります。

comment *comment*

(任意) テキストコメントをこのロールバックに割り当てます。*comment* 引数の長さは 60 文字までです。

コマンド モデル

EXEC

管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。
リリース 4.0.0	best-effort キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

commit コマンドを入力するたびに、コミット ID が新しいコンフィギュレーションに割り当てられます。 **rollback configuration** コマンドを使用することで、システムをそれまでのコミット ID のコンフィギュレーションに戻すことができます。

- *commit-id* 引数で指定されているコンフィギュレーションの前に存在していたコンフィギュレーションに戻すには、 **to** キーワードを使用します。
- (*number-of-commits* 引数で指定された) 回数の直近のコンフィギュレーション コミットを実行する前に存在していたコンフィギュレーションに戻すには、 **last** キーワードを使用します。
- ロールバック動作に使用可能なコミット ID のリストを表示するには、 **show configuration commit list** コマンドを使用します。



(注) 直近の 100 回のコミットがシステムによって保持されます。新しいコミット ID が追加されると、最も古いコミット ID が破棄され、ロールバック動作には使用できなくなります。

それ以外の方法では失敗するコミットを上書きするには、 **force** キーワードを使用します。これは、ルータのメモリが少ない状況で、そのメモリ不足の原因となったコンフィギュレーションを削除するコミットに戻す場合に有効です。



(注) 個々のコミットにコンフィギュレーションおよび同じ項目のコンフィギュレーションの削除が含まれており、いずれかの個々のコミット操作にいずれかの項目から別の項目への依存関係が存在する場合、2回（以上）のコミットをロールバックしようとする、このロールバック操作は失敗する可能性があります。

タスク ID

タスク ID	操作
root-lr (EXEC)	読み取り、書き込み
root-system (管理 EXEC)	読み取り、書き込み

例

特定のコミット ID へのロールバック

次に、特定のコミット ID にロールバックする例を示します。この例では、**show configuration commit list** コマンドによって使用可能なロールバックポイントが表示されます。次に、コンフィギュレーションは、**rollback configuration** コマンドによって以前のコミットにロールバックされます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration commit list

SNo. Label/ID      User      Line      Client      Time Stamp
~~~~ ~~~~~~      ~~~~      ~~~~      ~~~~~~
1    1000000009 lab      con0_RSP0_C Rollback    02:41:08 UTC Sun Sep 26 2009
2    1000000008 lab      con0_RSP0_C CLI         02:40:30 UTC Sun Sep 26 2009
3    1000000007 lab      con0_RSP0_C CLI         02:39:54 UTC Sun Sep 26 2009
4    1000000006 lab      con0_RSP0_C Rollback    02:38:40 UTC Sun Sep 26 2009
5    1000000005 lab      con0_RSP0_C CLI         02:37:35 UTC Sun Sep 26 2009
6    1000000004 lab      con0_RSP0_C CLI         02:37:04 UTC Sun Sep 26 2009

RP/0/RSP0/CPU0:router# rollback configuration to 1000000008

Loading Rollback Changes.
Loaded Rollback Changes in 1 sec
Committing.
1 items committed in 1 sec (0)items/sec
Updating.RP/0/RP0/CPU0:Sep 26 02:42:09.318 : config_rollback[65707]: %LIBTARCFG-6-COMMIT : Configuration committed by user 'lab'. Use 'show commit changes 100000010' to view the changes.

Updated Commit database in 1 sec
Configuration successfully rolled back to '1000000008'.
```

例

一定範囲のコンフィギュレーションコミットへのロールバック

次に、直近の2回のコンフィギュレーションコミットを実行する前のコンフィギュレーションにロールバックする例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# rollback configuration last 2

Loading Rollback Changes.
Loaded Rollback Changes in 1 sec
Committing.
1 items committed in 1 sec (0)items/sec
Updating.
Updated Commit database in 1 sec
Configuration successfully rolled back 2 commits.
```

関連コマンド

コマンド	説明
load rollback changes , (55 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションに、以前のコンフィギュレーションの内容を入力します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

root

コンフィギュレーションサブモードからコンフィギュレーションモードに戻すには、サポートされている任意のコンフィギュレーションサブモードで **root** コマンドを使用します。

root

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

次を除く任意のサブコンフィギュレーション モード

- コンフィギュレーションを終了するために **end-policy** コマンドが必要になるため、**root** コマンドはルートポリシー サブモードでは使用できません。
- **root** コマンドはテンプレート サブモードでは使用できませんが、テンプレート サブモードで設定可能なサブモードでは使用できます。

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次に、**root** コマンドを使用して、インターフェイス コンフィギュレーション サブモードからコンフィギュレーション モードに戻る例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface tengige 0/1/0/0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# root
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)#
```

次に、テンプレートサブモードで設定可能なサブモードから **root** コマンドを使用する例を示します。この例では、**root** コマンドを使用して、ユーザ名サブモードからコンフィギュレーションモードに戻ります。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# template test
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-TPL)# username xyz
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-un)# root
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# show conf
```

```
Building configuration...
template test
username xyz
!
end-template
end
```



ヒント

root コマンドはテンプレートサブモードからは使用できませんが、テンプレートサブモードで設定可能なサブモードでは使用できます。

save configuration

コンフィギュレーションの内容をファイルに保存するには、グローバルコンフィギュレーションまたは管理コンフィギュレーションモードで **save configuration** コマンドを使用します。

save configuration [running] device:directory-path

構文の説明

running	(任意) 実行コンフィギュレーションの内容を保存します。
<i>device: directory-path</i>	ターゲットコンフィギュレーションにロードするコンフィギュレーションファイルのストレージデバイスとディレクトリパス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバルコンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

コンフィギュレーションをファイルに保存するには、**save configuration** コマンドを使用します。

失敗したコンフィギュレーションをファイルに保存するには、**save configuration failed** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次の例は、EXEC モードから disk0: に保存されたコンフィギュレーションを示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# save configuration disk0:sample3

Destination file name (control-c to abort): [/sample3]?
Building configuration.
1 lines built in 1 second
[OK]
```

次に、管理 EXEC モードから disk1 に保存されたコンフィギュレーションの例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)# save configuration disk1:sample4

Destination file name (control-c to abort): [/sample4]?
Building configuration.
1 lines built in 1 second
[OK]
```

関連コマンド

コマンド	説明
save configuration commit changes, (76 ページ)	単一のコミット、または一連のコミットによる変更をファイルに保存します。
save configuration failed, (79 ページ)	失敗したコンフィギュレーションの内容を保存します。
save configuration merge, (81 ページ)	結合されたコンフィギュレーションの変更をファイルに保存します。
save configuration removed, (83 ページ)	削除されたコンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
save rollback changes, (86 ページ)	コミット ID またはコミット グループのロールバックの変更を保存します。
show configuration commit changes, (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list, (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーション コミットに関する情報を表示します。
show configuration rollback changes, (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

save configuration changes

コンフィギュレーションの変更をファイルに保存するには、グローバル コンフィギュレーション または管理コンフィギュレーション モードで **save configuration changes** コマンドを使用します。

save configuration changes *device:directory-path*

構文の説明

<i>device: directory-path</i>	ターゲット コンフィギュレーションにロードするコンフィギュレーション ファイルのストレージ デバイスとディレクトリ パス。
-------------------------------	---

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

置換操作中に実行されるコンフィギュレーションの変更をファイルに保存するには、**save configuration changes** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次の例は、EXEC モードから disk0: に保存されたコンフィギュレーションを示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# save configuration changes disk0:sample3
Destination file name (control-c to abort): [/sample3]?
Building configuration.
1 lines built in 1 second
[OK]
```

関連コマンド

コマンド	説明
save configuration commit changes, (76 ページ)	単一のコミット、または一連のコミットによる変更をファイルに保存します。
save configuration failed, (79 ページ)	失敗したコンフィギュレーションの内容を保存します。
save configuration merge, (81 ページ)	結合されたコンフィギュレーションの変更をファイルに保存します。
save configuration removed, (83 ページ)	削除されたコンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
save rollback changes, (86 ページ)	コミット ID またはコミット グループのロールバックの変更を保存します。
show configuration commit changes, (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list, (108 ページ)	コミットデータベースに保存されたコンフィギュレーションコミットに関する情報を表示します。
show configuration rollback changes, (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

save configuration commit changes

単一のコミットまたは一連のコミットによる変更をファイルに保存するには、グローバル コンフィギュレーションまたは管理コンフィギュレーションモードで **save configuration commit changes** コマンドを使用します。

save configuration commit changes {*commit-id*| **last** *number-of-commits*| **since** *commit-id*}
device:directory-path

構文の説明

<i>commit-id</i>	特定のコミット ID。
last <i>number-of-commits</i>	直近の <i>number-of-commits</i> で実行された変更を保存します。
since <i>commit-id</i>	特定の <i>commit-id</i> 以降（この ID を含む）に実行された変更を保存します。
<i>device: directory-path</i>	ターゲット コンフィギュレーションにロードするコンフィギュレーションファイルのストレージデバイスとディレクトリパス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
 管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。
リリース 3.9.0	変更なし。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

コミット動作で実行された変更をファイルに保存するには、**save configuration commit changes** コマンドを使用します。特定のコミット ID、指定されたコミット ID 以降のすべての変更、または直近の *n* 回のコミットで行われた変更を指定できます。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次に、直近の 2 回のコミット動作による変更を disk0 に保存する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)# save configuration commit changes last 2 disk0:sample1

Destination file name (control-c to abort): [/sample1]?
Building configuration.
5 lines built in 1 second
[OK]
```

関連コマンド

コマンド	説明
save configuration, (72 ページ)	コンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
save configuration changes, (74 ページ)	コンフィギュレーションの変更をファイルに保存します。
save configuration failed, (79 ページ)	失敗したコンフィギュレーションの内容を保存します。
save configuration merge, (81 ページ)	結合されたコンフィギュレーションの変更をファイルに保存します。
save configuration removed, (83 ページ)	削除されたコンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
save rollback changes, (86 ページ)	コミット ID またはコミットグループのロールバックの変更を保存します。
show configuration commit changes, (105 ページ)	以前のコンフィギュレーション コミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list, (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーション コミットに関する情報を表示します。
show configuration history, (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。

コマンド	説明
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

save configuration failed

失敗したコンフィギュレーションの内容をファイルに保存するには、グローバル コンフィギュレーションまたは管理コンフィギュレーション モードで **save configuration failed** コマンドを使用します。

save configuration failed [**load**| **noerrors**]| **startup** [**previous number**] [**noerror**]] *device:directory-path*

構文の説明

load	(任意) 直前のリロードで失敗したコンフィギュレーション (構文エラー) を保存します。
noerrors	(任意) 保存するコンフィギュレーションからエラーの理由を除外します。
startup	(任意) 起動時に失敗したコンフィギュレーションを保存します。
previous number	(任意) 指定された以前のセッションで失敗したスタートアップ コンフィギュレーションを保存します。 <i>number</i> 引数は、保存する失敗したスタートアップ コンフィギュレーションの数を示す 1 ~ 4 の値です。
<i>device: directory-path</i>	保存するコンフィギュレーションファイルのストレージデバイスとディレクトリパス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

コンフィギュレーションをファイルに保存するには、**save configuration** コマンドを使用します。失敗したコンフィギュレーションをファイルに保存するには、**save configuration failed** コマンドを使用します。

起動時に失敗したコンフィギュレーションをファイルに保存するには、**startup** キーワードと **save configuration failed** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次に、失敗したコンフィギュレーションを **disk0** に保存する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router (admin-config) # save configuration failed disk1:/configs
```

関連コマンド

コマンド	説明
save configuration, (72 ページ)	コンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
save configuration commit changes, (76 ページ)	単一のコミット、または一連のコミットによる変更をファイルに保存します。
save configuration merge, (81 ページ)	結合されたコンフィギュレーションの変更をファイルに保存します。
save configuration removed, (83 ページ)	削除されたコンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
save rollback changes, (86 ページ)	コミット ID またはコミット グループのロールバックの変更を保存します。
show configuration commit changes, (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list, (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーションコミットに関する情報を表示します。
show configuration history, (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes, (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

save configuration merge

結合されたコンフィギュレーションの内容をファイルに保存するには、グローバル コンフィギュレーションまたは管理コンフィギュレーション モードで **save configuration merge** コマンドを使用します。

save configuration merge *device:directory-path*

構文の説明

device : directory-path ターゲットコンフィギュレーションにロードするコンフィギュレーションファイルのストレージデバイスとディレクトリパス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次に、disk0 に保存されたコンフィギュレーションの例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)# save configuration merge disk0:sample3
```

```
Destination file name (control-c to abort): [/sample3]?
Building configuration.
1 lines built in 1 second
[OK]
```

関連コマンド

コマンド	説明
save configuration, (72 ページ)	コンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
save configuration commit changes, (76 ページ)	単一のコミット、または一連のコミットによる変更をファイルに保存します。
save configuration failed, (79 ページ)	失敗したコンフィギュレーションの内容を保存します。
save configuration removed, (83 ページ)	削除されたコンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
save rollback changes, (86 ページ)	コミット ID またはコミット グループのロールバックの変更を保存します。
show configuration commit changes, (105 ページ)	以前のコンフィギュレーション コミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list, (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーション コミットに関する情報を表示します。
show configuration history, (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes, (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

save configuration removed

削除されたコンフィギュレーションの内容をファイルに保存するには、グローバルコンフィギュレーションまたは管理コンフィギュレーションモードで **save configuration removed** コマンドを使用します。

save configuration removed *removed-configuration-file* *device:directory-path*

構文の説明

<i>removed-configuration-file</i>	削除されたコンフィギュレーション ファイルの名前を指定します。
<i>device:directory-path</i>	ターゲット コンフィギュレーションにロードするコンフィギュレーション ファイルのストレージデバイスとディレクトリパス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

パッケージが非アクティブになっている場合は、そのパッケージに属するコンフィギュレーションが実行コンフィギュレーションから削除され、ファイルに保存されます。削除されたコンフィギュレーション ファイルのコピーを保存するには、**save configuration removed** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

削除された使用可能なコンフィギュレーションファイルのリストを表示するには、**save configuration removed** コマンドの後に疑問符を使用します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# save configuration removed ?
    20051208042507.cfg  Removed configuration.
    20051208044553.cfg  Removed configuration.
    <cr>
```

次の例では、削除されたコンフィギュレーションを disk0: に保存し、ファイル名「sample3」を割り当てます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# save configuration removed 20051208042507.cfg disk0:sample3
Destination file name (control-c to abort): [/sample3]?
Building configuration.
1 lines built in 1 second
[OK]
```

関連コマンド

コマンド	説明
save configuration, (72 ページ)	コンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
save configuration commit changes, (76 ページ)	単一のコミット、または一連のコミットによる変更をファイルに保存します。
save configuration failed, (79 ページ)	失敗したコンフィギュレーションの内容を保存します。
save configuration merge, (81 ページ)	結合されたコンフィギュレーションの変更をファイルに保存します。
save rollback changes, (86 ページ)	コミット ID またはコミット グループのロールバックの変更を保存します。
show configuration commit changes, (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。

コマンド	説明
show configuration commit list , (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーションコミットに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	rollback configuration コマンドによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

save rollback changes

ロールバックの変更を保存するには、グローバル コンフィギュレーションまたは管理コンフィギュレーション モードで **save rollback changes** コマンドを使用します。

save rollback changes {*commit-id*| *last number-of-commits*| **to commit-id**} *device:directory-path*

構文の説明

<i>commit-id</i>	特定のコミット ID。
last number-of-commits	直近の <i>n</i> 回のコミットによるロールバックの変更を保存します。
to commit-id	特定の <i>commit-id</i> までのロールバックの変更を保存します。
<i>device: directory-path</i>	ターゲット コンフィギュレーションにロードするコンフィギュレーション ファイルのストレージデバイスとディレクトリパス。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

特定のコミット ポイントへのコンフィギュレーションのロールバック、または一連のコミットによるコンフィギュレーションのロールバックで生じた変更を保存するには、**save rollback changes** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次に、コミットポイント 5 のロールバックの変更を disk0 のファイル sample4 に保存する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin-config)# save rollback changes last 1 disk0:sample4
Destination file name (control-c to abort): [/sample4]?
Building configuration.
6 lines built in 1 second
[OK]
```

関連コマンド

コマンド	説明
save configuration, (72 ページ)	コンフィギュレーションの内容をファイルに保存します。
show configuration commit changes, (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list, (108 ページ)	コミットデータベースに保存されたコンフィギュレーションコミットに関する情報を表示します。
show configuration history, (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes, (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

set default-afi

現在のセッションのデフォルトアドレスファミリ識別子 (AFI) を設定するには、EXEC モードで **set default-afi** コマンドを使用します。

set default-afi {all| ipv4| ipv6}

構文の説明

all	現在のセッションのデフォルトの AFI を IPv4 および IPv6 に設定します。
ipv4	現在のセッションのデフォルトの AFI を IPv4 に設定します。これがデフォルト設定です。
ipv6	現在のセッションのデフォルトの AFI を IPv6 に設定します。

コマンド デフォルト

デフォルトの AFI 設定は、すべてのセッションで IPv4 に設定されます。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

現在のセッションのデフォルト AFI を設定するには、**set default-afi** コマンドを使用します。このコマンドは、**show** コマンドのキーストローク ショートカットとして機能します。デフォルトの AFI 設定が IPv4 に設定されている場合は、**ipv4** キーワードをサポートしている **show** コマンドに **ipv4** キーワードを指定する必要はありません。たとえば、AFI 設定が IPv4 に設定されている場合は、**ipv4** キーワードを指定しないで **show route** コマンドを発行し、Routing Information Base (RIB) で IPv4 ルートを表示することができます。

デフォルトの AFI 設定を表示するには、**show default-afi-safi-vrf** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り、書き込み

例

次に、デフォルトの AFI を IPv6 に設定する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# set default-afi ipv6
%% Default Address Family Identifier is set to 'ipv6'
```

関連コマンド

コマンド	説明
set default-safi, (90 ページ)	現在のセッションのデフォルトの SAFI を設定します。
set default-vrf, (92 ページ)	現在のセッションのデフォルト VRF インスタンスを設定します。
show default-afi-safi-vrf, (143 ページ)	現在のセッションのデフォルト AFI、SAFI、および VRF インスタンスを表示します。

set default-safi

現在のセッションのデフォルトサブアドレスファミリ識別子（SAFI）を設定するには、EXEC モードで **set default-safi** コマンドを使用します。

set default-safi {all| multicast| unicast}

構文の説明

all	現在のセッションのデフォルトの SAFI をマルチキャストおよびユニキャストに設定します。
multicast	現在のセッションのデフォルトの SAFI をマルチキャストに設定します。
unicast	現在のセッションのデフォルトの SAFI をユニキャストに設定します。これがデフォルト設定です。

コマンド デフォルト

デフォルトの SAFI 設定は、すべてのセッションでユニキャストに設定されます。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

現在のセッションのデフォルト SAFI 設定を設定するには、**set default-safi** コマンドを使用します。このコマンドは、**show** コマンドのキーストローク ショートカットとして機能します。デフォルトの SAFI 設定がユニキャストに設定されている場合は、**unicast** キーワードをサポートしている **show** コマンドにこのキーワードを指定する必要はありません。たとえば、デフォルトの SAFI 設定がユニキャストに設定されている場合は、**unicast** キーワードを指定しないで **show router** コマンドを発行し、Routing Information Base (RIB) のユニキャストアドレスプレフィックスに関する情報を表示することができます。

デフォルトの SAFI 設定を表示するには、**show default-afi-safi-vrf** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り、書き込み

例

次に、デフォルトの SAFI をマルチキャストに設定する例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# set default-safi multicast
%% Default Sub-Address Family Identifier is set to 'multicast'
```

関連コマンド

コマンド	説明
set default-afi, (88 ページ)	現在のセッションのデフォルト AFI を設定します。
set default-vrf, (92 ページ)	現在のセッションのデフォルト VRF インスタンスを設定します。
show default-afi-safi-vrf, (143 ページ)	現在のセッションのデフォルト AFI、SAFI、および VRF インスタンスを表示します。

set default-vrf

現在のセッションのデフォルトVPNルーティングおよび転送 (VRF) インスタンスを設定するには、EXEC モードで **set default-vrf** コマンドを使用します。

set default-vrf {*name*| none}

構文の説明

<i>name</i>	デフォルトの VRF 名。
none	デフォルトの VRF 名を空に設定します。

コマンド デフォルト

デフォルトの VRF 設定は空に設定されます。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

現在のセッションのデフォルトの VRF 設定を設定するには、**set default-vrf** コマンドを使用します。このコマンドは、**show** コマンドのキーストローク ショートカットとして機能します。たとえば、デフォルトの VRF が設定されている場合は、VRF 名を指定しないで **show route** コマンドを発行することができます。

セッションのデフォルトの VRF が **none** に設定されている場合は、システムのデフォルトの VRF の IPv4 ルートが表示されます。



(注) デフォルトの VRF 設定を上書するには、**show** コマンドで VRF 名を指定します。

デフォルトの VRF 設定を表示するには、**show default-afi-safi-vrf** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り、書き込み

例

次の例では、デフォルトの VRF が「dft_vrf」に設定されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# set default-vrf dft_vrf
%% Default Virtual Routing/Forwarding is set to 'dft_vrf'
```

次のコマンドでは、VRF 名を指定しないで **show route** コマンドが入力されます。デフォルトの VRF が「dft_vrf」に設定されていたため、「dft_vrf」VRF の結果が表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show route ipv4
% No matching vrf found
```

セッションのデフォルトの VRF が **none** に設定されている場合は、システムのデフォルトの VRF ルートが表示されます。次の例では、デフォルトの VRF が (空) に設定され、**show route** コマンドによってシステムのデフォルトの VRF 情報が表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# set default-vrf none
%% Default Virtual Routing/Forwarding is set to ''
RP/0/RSP0/CPU0:router# show route ipv4
Codes: C - connected, S - static, R - RIP, M - mobile, B - BGP
        D - EIGRP, EX - EIGRP external, O - OSPF, IA - OSPF inter area
        N1 - OSPF NSSA external type 1, N2 - OSPF NSSA external type 2
        E1 - OSPF external type 1, E2 - OSPF external type 2, E - EGP
        i - ISIS, L1 - IS-IS level-1, L2 - IS-IS level-2
        ia - IS-IS inter area, su - IS-IS summary null, * - candidate default
        U - per-user static route, o - ODR, L - local
Gateway of last resort is 12.29.0.1 to network 0.0.0.0
S* 0.0.0.0/0 [1/0] via 12.29.0.1, 00:31:30
L 10.10.10.10/32 is directly connected, 3d02h, Loopback1
C 12.29.0.0/16 is directly connected, 00:31:30, MgmtEth0/0/CPU0/0
L 12.29.56.21/32 is directly connected, 00:31:30, MgmtEth0/0/CPU0/0
```

関連コマンド

コマンド	説明
set default-afi, (88 ページ)	現在のセッションのデフォルト AFI を設定します。
set default-safi, (90 ページ)	現在のセッションのデフォルトの SAFI を設定します。
show default-afi-safi-vrf, (143 ページ)	現在のセッションのデフォルト AFI、SAFI、および VRF インスタンスを表示します。

show

システム コンフィギュレーションまたは動作ステートに関する情報を表示するには、EXEC モード、管理 EXEC モード、または任意のコンフィギュレーションモードで **show** コマンドを使用します。

show *command*[[**begin** *regular-expression* | **exclude** *regular-expression* | **file** *filesystem:* | **include** *regular-expression*]

構文の説明

<i>command</i>	サポートされている show コマンド。
	縦棒（「パイプ」記号）は、そのあとに出力処理の指定が続くことを示します。
<i>regular-expression</i>	（任意） show コマンドの出力で検出される正規表現。
begin	（任意）正規表現が含まれる最初の行から、 show コマンドのフィルタリングされていない出力を開始します。
exclude	（任意）正規表現が含まれない出力行を表示します。
file <i>filesystem:</i>	（任意）正規表現が含まれる出力行を、指定されたファイルシステムの指定されたファイルに書き込みます。 <i>filesystem</i> 引数のファイルシステムエイリアスと、そのあとに続くコロン、さらにディレクトリパスとファイル名が含まれます。
include	（任意）正規表現が含まれる出力行を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
 管理 EXEC
 任意のコンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

show コマンドは、システムおよびその設定に関する情報を表示するために使用します。使用可能な **show** コマンドのリストを表示するには、オンライン ヘルプの疑問符 (?) 機能を使用します。

出力のフィルタリング

次の表に **show** コマンドの検索オプションを示します。

表 2: **show** コマンドの検索オプション

コマンド	目的
show command begin <i>regular-expression</i>	正規表現が含まれる最初の行から、フィルタリングせずに show command コマンドの出力を開始します。
show command exclude <i>regular-expression</i>	正規表現を含まない出力行を表示します。
show command include <i>regular-expression</i>	正規表現を含む出力行を表示します。
show command file <i>filesystem:</i>	正規表現が含まれる出力行を、指定されたファイルシステムの指定されたファイルに書き込みます。

--More-- プロンプトでのフィルタの追加

show コマンドによる出力の **--More--** プロンプトにフィルタを指定することもできます。 **--More--** プロンプトから出力をフィルタリングするには、スラッシュ (*/*) と、そのあとに正規表現を入力します。フィルタは、コマンド出力が完了するか、または (**Ctrl-Z** または **Ctrl-C** を使用して) 中断されるまでアクティブな状態のままです。

- 元のコマンドまたはそれまでの **--More--** プロンプトでフィルタが指定されている場合は、2 番目のフィルタを適用できません。
- **begin** キーワードはフィルタの構成要素ではありません。
- 正規表現の前にマイナス符号 (-) を使用すると、その正規表現が含まれない出力行が表示されます。
- 正規表現の前にプラス符号 (+) を使用すると、その正規表現が含まれる出力行が表示されます。

タスク ID

タスク ID	操作
show コマンドで使用される機能のタスク ID	読み取り

たとえば、**show interfaces** コマンドには、インターフェイスタスク ID での読み取り権限が必要です。

例

次に、**show interface | include protocol** コマンドの出力例を示します。この例では、**show command** コマンドは、正規表現「protocol」が含まれる行だけを表示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show interface | include protocol

Null0 is up, line protocol is up
0 drops for unrecognized upper-level protocol
TenGigE0/2/0/0 is administratively down, line protocol is administratively down
0 drops for unrecognized upper-level protocol
TenGigE0/2/0/1 is administratively down, line protocol is administratively down
0 drops for unrecognized upper-level protocol
TenGigE0/2/0/2 is administratively down, line protocol is administratively down
0 drops for unrecognized upper-level protocol
TenGigE0/2/0/3 is administratively down, line protocol is administratively down
0 drops for unrecognized upper-level protocol
FastEthernet0/RP0/CPU0/0 is administratively down, line protocol is administratively
down
FastEthernet0/RP0/CPU0/0 is administratively down, line protocol is administratively
down
0 drops for unrecognized upper-level protocol
```

ほとんどのシステムでは、いつでも **Ctrl+Z** のキーの組み合わせを入力して出力を中断し、EXEC モードに戻ることができます。たとえば、**show running-config | begin hostname** コマンドを使用して、ホスト名の設定が含まれる行から実行コンフィギュレーションファイルの表示を開始し、必要な情報の終わりに達したときに **Ctrl-Z** を使用します。

次の例は、**show configuration running | begin line** コマンドの出力例を示します。出力は、正規表現「line」が含まれる最初の行のフィルタリングされていない出力から始まります。この例では、**--More--** プロンプトで、正規表現「ipv4」が含まれる出力行から開始する新しい検索が指定されています。



(注) **begin** キーワードはフィルタの構成要素ではありません。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration running | begin line

Building configuration...
line console
  exec-timeout 120 120
!
logging trap
--More--
/ipv4

filtering...
```

```
route ipv4 0.0.0.0 255.255.0.0 pos0/2/0/0
interface TenGigE0/2/0/0
  ipv4 address 172.19.73.215 255.255.0.0
end
```

関連コマンド

コマンド	説明
more , (60 ページ)	テキスト ファイルからの出力を表示します。

show aliases

定義されているすべてのエイリアスまたは指定モードで定義されているエイリアスを表示するには、EXEC モードで **show aliases** コマンドを使用します。

show aliases

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

システムで現在設定されているすべてのエイリアスを表示します。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

システムで現在設定されているすべてのエイリアスを表示するには、**show aliases** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り

例

次の例は **show aliases** コマンドからの出力例を示します。出力には、設定されているすべてのコマンドエイリアスのサマリーが表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show aliases
exec mode aliases:
ipv4_brief          show ipv4 interface brief
```

```
interface mode aliases:
sample_int          tengige 0/2/0/0
```

関連コマンド

コマンド	説明
alias , (8 ページ)	コマンドエイリアスを作成します。

show configuration (config)

現在のコンフィギュレーションセッション（ターゲットコンフィギュレーション）に関する情報を表示するには、任意のコンフィギュレーションモードで **show configuration** コマンドを使用します。

show configuration [merge] [running]

構文の説明

merge (任意) コミットしていない変更されたターゲットコンフィギュレーションの内容を実行コンフィギュレーションにコミットしたときに生成されるコンフィギュレーションを表示します。

running (任意) (コミットされた) 実行コンフィギュレーションを表示します。

コマンド デフォルト

引数なしで **show configuration** コマンドを入力すると、ターゲットコンフィギュレーションに対するコミットされていない変更が表示されます。

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスクグループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

コミットされていないコンフィギュレーションの変更に関する詳細を表示するには、**show configuration** コマンドを使用します。

(アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示するには、**show configuration** コマンドを **running** キーワードを指定して使用します。

ターゲットコンフィギュレーションと実行コンフィギュレーションとの結合の結果を表示するには、ターゲットコンフィギュレーションをコミットする前に、任意のコンフィギュレーションモードから **merge** キーワードを指定した **show configuration** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り

例

この例では、**show configuration** コマンドによって、コンフィギュレーションセッションで行われたコミットされていない変更が表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface tengige0/3/0/3
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# description faq
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# ipv4 address 10.10.11.20 255.0.0.0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# show configuration

Building configuration...
interface TenGigE0/3/0/3
  description faq
  ipv4 address 10.10.11.20 255.0.0.0
end
```

次の例は、**merge** キーワードをオプションとして指定した **show configuration** コマンドの出力例を示します。このコマンドは、コンフィギュレーションセッション中に入力します。出力には、ターゲットコンフィギュレーションと実行コンフィギュレーションの結合の結果が、変更をコミットしない状態で表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# interface tengige0/3/0/3
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# description faq
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# ipv4 address 10.10.11.20 255.0.0.0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if)# show configuration merge

Building configuration...
hostname router
interface TenGigE0/0/0/0
  ipv4 address 1.2.3.4 255.0.0.0
  exit
interface TenGigE0/3/0/3
  description faq
  ipv4 address 1.1.1.1 255.0.0.0
  shutdown
end
```

関連コマンド

コマンド	説明
commit , (24 ページ)	ターゲットコンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションに結合します。
load , (47 ページ)	ターゲットコンフィギュレーションに、それまでに保存されているコンフィギュレーションファイルの内容を入力します。

コマンド	説明
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list , (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーション コミットに関する情報を表示します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration failed startup , (120 ページ)	起動時に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running , (136 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration running-config , (138 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration changes

置換操作中に実行されるコンフィギュレーションの変更を表示するには、グローバル コンフィギュレーションまたは管理コンフィギュレーション モードで **show configuration changes** コマンドを使用します。

show configuration changes [diff]

構文の説明

diff (任意) UNIX に類似した形式で変更を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション
管理コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り
basic-services	読み取り

例

次に、置換操作中に行われる変更の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# show configuration changes diff
```

show configuration changes

```

Building configuration...
# hostname router
# hostname bla
- logging console
- telnet vrf default ipv4 server disable
- domain ipv4 host xhu-u5
- domain ipv4 host coax-u10
- domain ipv4 host coax-u10.cisco.com
- domain name
- interface Loopback1
-   ipv4 address 10.0.0.2 255.255.255.224
- !
- interface Loopback2
-   description
- !
- interface Loopback5
-   description
- !
- interface Loopback6
-   description
- !
- interface MgmtEth0/0/CPU0/0
-   ipv4 address 10.0.0.1 255.255.255.224
- !
- interface GigabitEthernet0/2/0/0
-   shutdown
- !
- interface GigabitEthernet0/2/0/1
-   shutdown
- !
- interface GigabitEthernet0/2/0/2
-   shutdown
- !
- router static
-   address-family ipv4 unicast
-     0.0.0.0/0 255.255.255.224
- !
- !
end

```

show configuration commit changes

それまでのコンフィギュレーションコミット、単一のコンフィギュレーションコミット、または一定範囲のコンフィギュレーションコミットによって実行コンフィギュレーションに行われた変更を表示するには、EXEC、管理 EXEC、管理コンフィギュレーション、またはグローバルコンフィギュレーションモードで **show configuration commit changes** コマンドを使用します。

show configuration commit changes {*commit-id*| **since** *commit-id*| **last** *number-of-commits*} [**diff**]

構文の説明

since	特定のコンフィギュレーションコミット以降（そのコミットを含む）に実行コンフィギュレーションにコミットされたすべての変更を表示します。
<i>commit-id</i>	特定のコンフィギュレーションコミットによるコンフィギュレーションの変更を表示します。
last <i>number-of-commits</i>	<i>number-of-commits</i> 引数で指定された回数の直近のコンフィギュレーションコミットで実行コンフィギュレーションに対して行われた変更を表示します。
diff	（任意）追加された行、変更された行、および削除された行を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
 管理 EXEC
 管理コンフィギュレーション
 グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

commit コマンドを使用してコンフィギュレーションをコミットするたびに、コンフィギュレーションコミット動作にコミット ID が割り当てられます。**show configuration commit changes** コマンドは、指定されたコミット以降のコンフィギュレーションの変更を表示します。

使用可能なコミット ID のリストを表示するには、**show configuration commit list** コマンドを入力します。オンラインヘルプの機能 (?) とともに **show configuration commit changes** コマンドを入力することで、コミット ID を表示することもできます。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次の例は、**show configuration commit changes** コマンドの出力例を示します。出力にコミット ID が表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration commit list
SNo. Label/ID      User      Line      Client      Time Stamp
~~~~ ~~~~~~
1    1000000077 lab      con0_RSP1_C CLI         15:42:45 UTC Fri Jan 30 2009
2    1000000076 lab      con0_RSP1_C Rollback    15:30:39 UTC Fri Jan 30 2009
3    1000000075 lab      con0_RSP1_C Rollback    15:25:26 UTC Fri Jan 30 2009
4    1000000074 lab      con0_RSP1_C Rollback    15:04:29 UTC Fri Jan 30 2009
5    1000000073 lab      con0_RSP1_C CLI         14:49:07 UTC Fri Jan 30 2009
6    1000000072 lab      con0_RSP1_C CLI         14:48:35 UTC Fri Jan 30 2009
```

次の例は、**commit-id** 引数を指定した **show configuration commit changes** コマンドの出力例を示します。この例では、コミット ID 1000000077 が割り当てられたコンフィギュレーションコミットで行われた変更が出力に表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration commit changes 1000000077
Building configuration...
alias exec shrun show configuration running
alias exec shver show version
end
```

次の例は、**since commit-id** キーワードおよび引数を指定した **show configuration commit changes** コマンドの出力例を示します。この例では、コミット ID 1000000077 が割り当てられたコンフィギュレーションコミットがコミットされたあとに行われたコンフィギュレーションの変更が出力に表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration commit changes since 1000000077
```

```
Building configuration...
no hw-module node 0/RP0/CPU0 shutdown
hostname router
logging trap
no logging console
logging history size 1
alias exec shrun show configuration running
alias exec shver show version
interface MgmtEth0/RP1/CPU0/0
  ipv4 address 12.25.34.10 255.255.0.0
  no shutdown
  !
interface preconfigure MgmtEth0/RP0/CPU0/0
  no shutdown
  !
no route ipv4 0.0.0.0/0 12.7.0.1
route ipv4 0.0.0.0/0 12.25.0.1
route ipv4 223.255.254.254/32 12.25.0.1
telnet ipv4 server enable
end
```

次の例は、**diff** キーワードを使用した **show configuration commit changes** コマンドの出力例を示します。この表示では、次の記号が変更を示します。

+ は追加された行を示します。

- は削除された行を示します。

は変更された行を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration commit changes last 1 diff
```

```
Building configuration...
+ interface Loopback1000
+ ipv4 address 190.190.180.1 255.255.255.255
!
end

+ interface Loopback1000
+ ipv4 address 190.190.180.1 255.255.255.255
!
end
```

関連コマンド

コマンド	説明
rollback configuration, (66 ページ)	コンフィギュレーションを以前のコミットにロールバックします。
show configuration rollback changes, (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。

show configuration commit list

コミットデータベースに保存されたコンフィギュレーションコミットに関する情報を表示するには、EXEC、管理EXEC、管理コンフィギュレーション、またはグローバルコンフィギュレーションモードで **show configuration commit list** コマンドを使用します。

show configuration commit list [*number-of-commits*] [**detail**]

構文の説明

<i>number-of-commits</i>	(任意) ロールバックに使用できるコミットの回数 (直前のコミットから数えて)。
detail	(任意) コメントを含む詳細なコミット情報を表示します。

コマンド デフォルト

オプションの引数またはキーワードを指定せずにこのコマンドを入力すると、コミットデータベースに保存されたすべてのコンフィギュレーションコミットに関する情報が出力に表示されます。

コマンド モード

EXEC
 管理 EXEC
 管理コンフィギュレーション
 グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザグループに属している必要があります。ユーザグループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

ロールバックに使用できる (最大で 100 個の) コミット ID のリストを表示するには、**show configuration commit list** コマンドを使用します。



(注) 直近の 100 回のコミットがシステムによって保持されます。新しいコミット ID が追加されると、最も古いコミット ID が破棄され、ロールバック動作には使用できなくなります。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次の例は、**show configuration commit list** コマンドの出力例を示します。出力には、ロールバックに使用できるコミット ID が表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration commit list
SNo. Label/ID      User      Line      Client      Time Stamp
~~~~ ~~~~~~      ~~~~      ~~~~      ~~~~~~      ~~~~~~
1    1000000010    UNKNOWN  con0_RSP0_C  Rollback    02:25:53 UTC Fri Feb 06 2009
2    1000000009    UNKNOWN  con0_RSP0_C  CLI         02:23:09 UTC Fri Feb 06 2009
3    1000000008    UNKNOWN  con0_RSP0_C  CLI         02:22:54 UTC Fri Feb 06 2009
4    1000000007    UNKNOWN  con0_RSP0_C  CLI         02:22:18 UTC Fri Feb 06 2009
5    1000000006    UNKNOWN  con0_RSP0_C  CLI         02:07:21 UTC Fri Feb 06 2009
```

表 3： show configuration commit list のフィールドの説明、(109 ページ) に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 3： show configuration commit list のフィールドの説明

フィールド	説明
SNo.	コミット エントリのシリアル番号。
Label/ID	ラベルがコミットに割り当てられている場合は、ラベルの最初の 10 文字が表示されます。割り当てられていない場合は、自動生成されたコミット ID が表示されます。
User	コミットを実行したユーザ。
Line	ユーザセッションが確立された行。場合によっては、このフィールドに「UNKNOWN」または「SYSTEM」と表示されることがあります。これらのフィールドは、システムによって内部コミットが実行されたことを示します。

フィールド	説明
Client	コミットを実行するために使用された管理インターフェイス。
Time Stamp	コミットが実行された日時。

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration failed startup , (120 ページ)	起動時に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running , (136 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration running-config , (138 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration failed (config)

直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示するには、任意のコンフィギュレーション モードで **show configuration failed** コマンドを使用します。

show configuration failed [load] noerrors

構文の説明

load	(任意) load コマンドによってロードされたコンフィギュレーションで検出された構文エラーを表示します。
noerrors	(任意) 直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションを表示します (エラーの理由を除く)。

コマンド デフォルト

失敗したコンフィギュレーションの詳細を表示します (エラーの理由を含む)。

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り

例

次に、失敗したコミット動作の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
```

show configuration failed (config)

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# taskgroup bgp
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-tg)# description this is an example of an invalid task group
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-tg)# commit
% Failed to commit one or more configuration items.
Please use 'show configuration failed' to view the errors
```

次の例は、**show configuration failed** コマンドのサンプル出力を示しています。出力には、直前のコミット動作で失敗したコンフィギュレーションの項目が表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-tg)# show configuration failed

!! CONFIGURATION FAILED DUE TO SEMANTIC ERRORS
taskgroup bgp
!!% Usergroup/Taskgroup names cannot be taskid names
!
```

次の例は、オプションの **no errors** キーワードを使用した **show configuration failed** コマンドからの出力例を示します。出力には、直前のコミット動作で失敗したコンフィギュレーションの項目が、エラーの説明を除いて表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-tg)# show configuration failed noerrors

!! CONFIGURATION FAILED DUE TO SEMANTIC ERRORS
taskgroup bgp
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list , (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーションコミットに関する情報を表示します。
show configuration failed startup , (120 ページ)	起動時に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running , (136 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration running-config , (138 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。

コマンド	説明
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration failed incompatible

アクティブにされているソフトウェアにより認識されなかったために実行コンフィギュレーションから削除されたすべてのコンフィギュレーションを表示するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **show configuration failed incompatible** コマンドを使用します。

show configuration failed incompatible

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

インストールされた新しいソフトウェアにより認識されない、実行コンフィギュレーション内のすべてのコンフィギュレーションは、実行コンフィギュレーションから削除されます。削除されたコンフィギュレーションを表示するには、**show configuration failed incompatible** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration failed remove

インストール動作中の削除に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **show configuration failed remove** コマンドを使用します。

show configuration failed remove

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次に、失敗したコミット動作の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration failed remove
!! SEMANTIC ERRORS: This configuration was rejected by
!! the system due to semantic errors. The individual
!! errors with each failed configuration command can be
!! found below.
```

```
multicast-routing
no address-family ipv4
!!% Process did not respond to sysmgr
address-family ipv4
no interface all enable
!!% Process did not respond to sysmgr
!
```

コンフィギュレーションの削除に失敗したため、このコンフィギュレーションは、予想どおり **show running-configuration** コマンドの出力に表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show running-configuration
...
router pim vrf default address-family ipv4
 auto-rp candidate-rp GigabitEthernet0/2/0/3 scope 255 group-list 224/4 interval 10
!
multicast-routing
 address-family ipv4
  interface all enable
!
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーション コミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list , (108 ページ)	コミットデータベースに保存されたコンフィギュレーション コミットに関する情報を表示します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running , (136 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration running-config , (138 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration failed rollback

直前のロールバック動作で失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **show configuration failed rollback** コマンドを使用します。

show configuration failed rollback

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り
root-lr	読み取り

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。

コマンド	説明
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーション コミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list , (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーション コミットに関する情報を表示します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running , (136 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration running-config , (138 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーション セッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration failed startup

起動時に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **show configuration failed** コマンドを使用します。

show configuration failed startup [**noerror**| **previous number**]

構文の説明

noerror	(任意) 起動時に失敗したコンフィギュレーションを表示します (エラーの理由を除く)。
previous number	(任意) 以前に失敗した 1 つまたは複数のスタートアップ コンフィギュレーションを表示します。 <i>number</i> 引数は、以前の <i>number</i> 回のセッションで失敗したスタートアップ コンフィギュレーションを表示する 1~4 の値です。

コマンド デフォルト

キーワードを指定しないと、このコマンドによって、エラーの理由を含む失敗したスタートアップ コンフィギュレーションの詳細が表示されます。

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーション コミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list , (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーション コミットに関する情報を表示します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running , (136 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration running-config , (138 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration history

コンフィギュレーション イベントの履歴を表示するには、EXEC モード、管理 EXEC モード、管理コンフィギュレーションモード、またはグローバル コンフィギュレーションモードで **show configuration history** コマンドを使用します。

show configuration history [**alarm**|**backup**|**cfs-check**|**commit**|**rebase**|**shutdown**|**startup**] [**first number**|**last number**|**reverse**] [**detail**]

構文の説明

alarm	(任意) アラーム イベントを表示します。
backup	(任意) コンフィギュレーション バックアップ イベントを表示します。
cfs-check	(任意) CFS チェック イベントを表示します。
commit	(任意) コミット イベントを表示します。
rebase	(任意) コミット データベース統合 イベントを表示します。
shutdown	(任意) シャットダウン イベントを表示します。
startup	(任意) 別のコンフィギュレーション、失敗したコンフィギュレーション、その他のイベントを含むスタートアップ イベントを表示します。
first number	(任意) 最初の <i>x</i> 個のイベントを表示します。 <i>x</i> は <i>number</i> 引数です。
last number	(任意) 最後の <i>x</i> 個のイベントを表示します。 表示するイベントの数に置き換えます。
reverse	(任意) 直前のイベントを最初に表示します。
detail	(任意) コメントを含む詳細な情報を表示します。

コマンド デフォルト

オプションの引数またはキーワードなしで入力すると、このコマンドによってすべてのコンフィギュレーション イベントが表示されます。最も古いイベントが、各イベントタイプのリストの先頭に表示されます。

コマンド モード

EXEC

管理 EXEC

管理コンフィギュレーション

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

直近の (最大で) 1500 個のコンフィギュレーション イベントに関する情報を表示するには、**show configuration history** コマンドを使用します。

特定のイベントタイプのコンフィギュレーション イベントだけを表示するには、使用可能なキーワードのいずれかを使用します。指定した数のイベントを表示するには、**first number** および **last number** キーワードおよび引数を使用します。最も新しいイベントをリストの先頭に表示するには、**reverse** キーワードを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次の例では、**show configuration history** コマンドを使用して、SDR のすべてのコンフィギュレーション イベントの履歴を表示します。

RP/0/RSP0/CPU0:router# **show configuration history**

```

Sno.   Event      Info                               Time Stamp
~~~~~ ~~~~~~ ~~~~~~ ~~~~~~
1      alarm      inconsistency alarm raised        Thu Jun 22 15:23:15 2009
2      startup    configuration applied             Thu Jun 22 15:23:32 2009
3      OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:25 2009
4      OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:33 2009
5      OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:33 2009
6      OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:34 2009
7      OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:34 2009
8      OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:35 2009
9      OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:36 2009
10     OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:37 2009
11     OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:37 2009
12     OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:38 2009
13     OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:38 2009
14     OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:39 2009
15     OIR config restore                Thu Jun 22 15:23:39 2009
    
```

show configuration history

```

16 OIR config restore Thu Jun 22 15:23:40 2009
17 OIR config restore Thu Jun 22 15:23:40 2009
18 OIR config restore Thu Jun 22 15:23:42 2009
19 OIR config restore Thu Jun 22 15:23:42 2009
20 OIR config restore Thu Jun 22 15:23:42 2009
21 OIR config restore Thu Jun 22 15:23:43 2009
--More--

```

次の例では、**show configuration history** コマンドを使用して、スタートアップ コンフィギュレーション イベントだけを表示します。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration history startup

Sno.  Event      Info                               Time Stamp
~~~~~  ~~~~~
1      startup   configuration applied             Thu Jun 22 15:23:32 2009
2      startup   configuration applied             Sat Jul 1 15:02:24 2009
3      startup   configuration applied             Sat Jul 8 17:36:52 2009
4      startup   configuration applied             Sun Jul 9 13:40:27 2009
5      startup   configuration applied             Sat Jul 15 18:18:54 2009

```

次の例では、コミット イベントに関する追加の詳細を表示するために、**commit detail** キーワードを指定した **show configuration history** コマンドを使用しています。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration history commit detail

1) Event: commit      Time: Thu Jun 22 15:44:33 2009
   Commit ID: 1000000001 Label:
   User: lab          Line: vty0
   Client: CLI        Comment:

2) Event: commit      Time: Thu Jun 22 16:58:18 2009
   Commit ID: 1000000002 Label:
   User: lab          Line: vty2
   Client: CLI        Comment:

3) Event: commit      Time: Thu Jun 22 16:58:39 2009
   Commit ID: 1000000003 Label:
   User: lab          Line: vty2
   Client: CLI        Comment:

4) Event: commit      Time: Sat Jul 1 15:29:31 2009
   Commit ID: 1000000001 Label:
   User: lab          Line: vty0
   Client: CLI        Comment:

5) Event: commit      Time: Sat Jul 1 15:32:25 2009
   Commit ID: 1000000002 Label:
   User: lab          Line: vty0
--More--

```

表 4 : show configuration history のフィールドの説明

フィールド	説明
SNo.	エントリのシリアル番号。
Event	コンフィギュレーション イベントのタイプ。
Info	コンフィギュレーション処理のサマリー。
Time Stamp	イベントが実行された日時。

フィールド	説明
Label/ID	ラベルがコミットに割り当てられている場合は、最初の 10 文字が表示されます。割り当てられていない場合は、自動生成されたコミット ID が表示されます。
User	コマンドを発行したユーザ。
Line	ユーザセッションが確立された行。場合によっては、このフィールドに「UNKNOWN」または「SYSTEM」と表示されることがあります。これらのフィールドは、システムによって内部処理が実行されたことを示します。
Client	イベントを作成するために使用された管理インターフェイス。

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーション コミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list , (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーション コミットに関する情報を表示します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration failed startup , (120 ページ)	起動時に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running , (136 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration running-config , (138 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。

show configuration history

コマンド	説明
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration inconsistency replica

複製ノードのコンフィギュレーションの不一致を表示するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **show configuration inconsistency replica** コマンドを使用します。

show configuration inconsistency replica location *node-id* [detail]

構文の説明

location <i>node-id</i>	指定したノードのすべてのコンフィギュレーションの不一致を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、ラック/スロット/モジュールの形式で表されます。
detail	不一致の詳細なリストを表示します。

コマンド デフォルト

管理 EXEC モード：管理プレーン コンフィギュレーションのコンフィギュレーションの不一致を表示します。

EXEC モード：SDR コンフィギュレーションのコンフィギュレーションの不一致を表示します。

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

管理 EXEC または EXEC モードでは、**show configuration inconsistency replica** コマンドの複製ノードはスタンバイの指定システム コントローラ (DSC) です。

手動によるスイッチオーバーまたは DSC 移行を実行する前に **show configuration inconsistency replica** コマンドを使用して、DSC を引き継ぐ回線のノードの状態が正常であることを確認します。問題が報告された場合は、**clear configuration inconsistency replica** コマンドを使用してその問題を修正します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次に、不一致があるコンフィギュレーションの例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration inconsistency replica location 0/rsp1/cpu0
The replica at location 0/RSP1/CPU0 is inconsistent.
Please run 'clear configuration inconsistency replica location 0/RP1/CPU0'.
```

次に、不一致を解決した後の出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:Router# show configuration inconsistency replica location 0/rsp1/cpu0
Replica is consistent
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configuration inconsistency replica , (20 ページ)	スタンバイ ノードのコンフィギュレーションの不一致を解決します。

show configuration persistent

固定コンフィギュレーションを表示するには、EXEC モードで **show configuration persistent** コマンドを使用します。

show configuration persistent [diff]

構文の説明

diff (任意) 実行コンフィギュレーションと固定コンフィギュレーションの違いを表示します。このオプションは DSC だけで使用できます。

コマンド デフォルト

引数を指定しないと、**show configuration persistent** コマンドによって、固定コンフィギュレーション ファイルの内容全体が表示されます。

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

固定コンフィギュレーションは、不揮発性メモリに格納されたコンフィギュレーションで、ルートのリロード後に、このコンフィギュレーションから実行コンフィギュレーションが復元されます。実行コンフィギュレーションは、固定コンフィギュレーションと同じでなければなりません。実行コンフィギュレーションと永続的なコンフィギュレーションとの間に違いがあるかどうかを確認するには、**diff** キーワードを指定した **show configuration persistent** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次に、実行コンフィギュレーションと固定コンフィギュレーションとの間に違いがない場合の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration persistent diff
Building configuration...
end
```

次に、実行コンフィギュレーションと固定コンフィギュレーションとの間に違いがある場合の例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration persistent diff
Building configuration...
router vrrp
interface gigabitethernet0/1/0/1.1
vrrp 1 preempt delay 300
!
interface gigabitethernet0/1/0/1.2
vrrp 1 preempt delay 300
!
interface gigabitethernet0/1/0/1.3
vrrp 1 preempt delay 300
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration removed

インストール動作中に削除されたコンフィギュレーションを表示するには、EXEC モードまたは管理 EXEC モードで **show configuration removed** コマンドを使用します。

show configuration removed *config-id*

構文の説明

config-id 削除されたコンフィギュレーションの名前。削除された全コンフィギュレーション名のリストを表示するには (?) を入力します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次に、削除されたコンフィギュレーションの例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration removed 20060301112919.cfg
xml agent corba
http server
```

end

関連コマンド

コマンド	説明
commit , (24 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションに結合します。
load , (47 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションに、それまでに保存されているコンフィギュレーションファイルの内容を入力します。
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list , (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーションコミットに関する情報を表示します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration failed startup , (120 ページ)	起動時に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running , (136 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration rollback changes

rollback configuration コマンドによって行われた変更を表示するか、コミット ID のリストを表示するには、EXEC モード、管理 EXEC モード、管理コンフィギュレーションモード、またはグローバル コンフィギュレーションモードで **show configuration rollback changes** コマンドを使用します。

show configuration rollback changes {*commit-id*| to *commit-id*| last *number-of-commits*} [*diff*]

構文の説明

<i>commit-id</i>	コンフィギュレーションの名前。特定の <i>commit-id</i> を指定すると、指定されたコミットがロールバックされた場合に限り生じる変更だけが表示されます。
to <i>commit-id</i>	システムが、 <i>commit-id</i> 引数で指定されるコンフィギュレーションにロールバックした場合に実行コンフィギュレーションで生じる変更を表示します。
last <i>number-of-commits</i>	システムが、 <i>number-of-commits</i> 引数で指定された回数の直近のコミットにロールバックした場合に実行コンフィギュレーションで生じる変更を表示します。
diff	(任意) 追加された行、変更された行、および削除された行を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
 管理 EXEC
 管理コンフィギュレーション
 グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。



(注) 直近の 100 回のコミットがシステムによって保持されます。新しいコミット ID が追加されると、最も古いコミット ID が破棄され、ロールバック動作には使用できなくなります。

特定のコミットによる変更を表示するには、**to** キーワードなしで *commit-id* 引数を使用します。これは、**rollback configuration** コマンドの処理をトラブルシューティングする場合に役立ちます。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次の例は、**to commit-id** キーワードおよび引数を指定した **show configuration rollback changes** コマンドの出力例を示します。出力には、引数で指定されたコンフィギュレーションコミットにコンフィギュレーションがロールバックされた場合に生じるコンフィギュレーションの変更が表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration rollback changes to 1000000007

Building configuration...
hostname old-name
end
```

次の例は、**last number-of-commits** キーワードおよび引数を使用した **show configuration rollback changes** コマンドの出力例を示します。出力には、引数で指定された回数のコンフィギュレーションコミットにコンフィギュレーションがロールバックされた場合に生じるコンフィギュレーションの変更が表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration rollback changes last 2

Building configuration...
hostname orig_name
interface POS0/1/0/1
  shutdown
!
end
```

次の例は、**diff** キーワードを使用した **show configuration rollback changes** コマンドの出力例を示します。

この表示では、次の記号が変更を示します。

- + は追加された行を示します。

- - は削除された行を示します。
- # は変更された行を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router
show configuration rollback changes last 1 diff

Building configuration...
 interface Loopback1000
#  ipv4 address 1.1.1.1 255.255.255.255
!
end
```

関連コマンド

コマンド	説明
load rollback changes, (55 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションに、以前のコンフィギュレーションの内容を入力します。
rollback configuration, (66 ページ)	コンフィギュレーションを以前のコミットにロールバックします。

show configuration running

実行コンフィギュレーションを表示するには、該当するモードで **show configuration running** コマンドを使用します。

show configuration running [*config-keyword*]

構文の説明

config-keyword (任意) 表示する特定のコンフィギュレーション。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

管理 EXEC
 管理コンフィギュレーション
 グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

現在のアクティブなコンフィギュレーションを表示するには、**show configuration running** コマンドを使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り

例

次に、現在実行中の（コミットされた）コンフィギュレーションの例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(admin)# show configuration running

Building configuration...
username lab
secret 5 $1$XNWt$j8RscNdncKSRoMSnqSpbj/
group root-system
!
end
```

関連コマンド

コマンド	説明
commit , (24 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションに結合します。
load , (47 ページ)	ターゲットコンフィギュレーションに、それまでに保存されているコンフィギュレーションファイルの内容を入力します。
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list , (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーションコミットに関する情報を表示します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration failed startup , (120 ページ)	起動時に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running-config , (138 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の（アクティブな）実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration running-config

実行コンフィギュレーションを表示するには、EXEC モードで **show configuration running-config** コマンドを使用します。

show configuration running-config [*config-keyword*]

構文の説明	<i>config-keyword</i>	(任意) 表示する特定のコンフィギュレーション。
コマンド デフォルト	なし	
コマンド モード	EXEC	
コマンド履歴	リリース	変更箇所
	リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

特定のキーワードの実行コンフィギュレーションだけを表示するには、*config-keyword* 引数を使用します。

タスク ID	タスク ID	操作
	basic-services	読み取り

例 次に、現在実行中の（コミットされた）コンフィギュレーションの例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration running-config
Building configuration...
```

```

!! Last configuration change at 15:36:31 UTC Thu Nov 17 2009 by lab
sessions Users with active configuration sess
!n
hostname router
line consolestartup Sh
  exec-timeout 0 0configuration
!
logging console debugging
|
| Ou
snmp-server community public RW
  <cr>
RP/0/0/
ipv4 source-routeadmin)#show confi
key chain IPSLA ?
  key 10
    key-string password 1
    ipv4 address 10.0.0.0 255.255.255.0
    encapsulation ppp
    keepalive disable
!
interface POS0/7/0/0
  shutdown
!
interface POS0/7/0/1
  shutdown
!
interface POS0/7/0/2
  shutdown
!
interface POS0/7/0/3
  shutdown
!
route ipv4 0.0.0.0/0 12.7.0.1
ipsla
  responder
!
!
end

```

関連コマンド

コマンド	説明
commit , (24 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションに結合します。
load , (47 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションに、それまでに保存されているコンフィギュレーションファイルの内容を入力します。
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲット コンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration commit changes , (105 ページ)	以前のコンフィギュレーションコミットによって行われた実行コンフィギュレーションに対する変更を表示します。
show configuration commit list , (108 ページ)	コミット データベースに保存されたコンフィギュレーション コミットに関する情報を表示します。
show configuration failed (config) , (111 ページ)	直前のコミットで失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。

コマンド	説明
show configuration failed startup , (120 ページ)	起動時に失敗したコンフィギュレーションに関する情報を表示します。
show configuration history , (122 ページ)	コンフィギュレーションの変更履歴を表示します。
show configuration rollback changes , (133 ページ)	設定のロールバックによって生じる変更、またはコミット ID のリストを表示します。
show configuration running , (136 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration sessions , (141 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。

show configuration sessions

アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示するには、管理EXECモードまたはEXECモードで **show configuration sessions** コマンドを使用します。

show configuration sessions [detail]

構文の説明

detail (任意) 詳細情報を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
管理 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

アクティブなコンフィギュレーションセッションを表示するには、**show configuration sessions** コマンドを使用します。コンフィギュレーションセッションをクリアするには、**clear configuration sessions** コマンドを使用します。**show configuration sessions** コマンドを **clear configuration sessions** コマンドとともに使用して、アクティブなコンフィギュレーションセッションがクリアされたことを確認できます。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次の例は、**show configuration sessions** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show configuration sessions
Current Configuration Session Line      User      Date                               Lock
00000050-001200bb-00000000    con0_5_CPU cisco     Fri Feb 16 17:23:47 2007
```

表 5: *show configuration sessions* のフィールドの説明

フィールド	説明
Session	システムにより生成されたコンフィギュレーションセッション ID 番号。
Line	ユーザセッションが確立された行。場合によっては、このフィールドに「UNKNOWN」または「SYSTEM」と表示されることがあります。これらのフィールドは、システムによって内部コミットが実行されたことを示します。
User	コンフィギュレーションセッションを開始したユーザ。
Date	コンフィギュレーションセッションが開始された日時。
Lock	ロックされた実行コンフィギュレーション。このフィールドにアスタリスク (*) が表示された場合は、セッションがロックされていることを意味します。一度に1つのセッションだけが実行コンフィギュレーションをロックできます。

関連コマンド

コマンド	説明
clear configuration sessions , (22 ページ)	アクティブなコンフィギュレーションセッションをクリアします。

show default-afi-safi-vrf

現在のセッションのデフォルトアドレスファミリー識別子（AFI）、サブアドレスファミリー識別子（SAFI）、およびVPNルーティングおよび転送（VRF）インスタンスを表示するには、EXECモードで **show default-afi-safi-vrf** コマンドを使用します。

show default-afi-safi-vrf

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

現在のセッションのデフォルト AFI および SAFI 設定を表示するには、**show default-afi-safi-vrf** コマンドを使用します。AFI および SAFI の設定は、次のコマンドによって制御されます。

- [set default-afi](#), (88 ページ)
- [set default-safi](#), (90 ページ)
- [set default-vrf](#), (92 ページ)

タスク ID

タスク ID	操作
basic-services	読み取り

例

次の例は、**show default-afi-safi-vrf** コマンドの出力例を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show default-afi-safi-vrf

%% Default AFI/SAFI/VRF for this session is:
   Address Family Identifier:      'ipv4'
   Sub-Address Family Identifier:  'unicast'
   Virtual Routing/Forwarding:    ''
```

関連コマンド

コマンド	説明
set default-afi, (88 ページ)	現在のセッションのデフォルト AFI を設定します。
set default-safi, (90 ページ)	現在のセッションのデフォルトの SAFI を設定します。
set default-vrf, (92 ページ)	現在のセッションのデフォルト VRF インスタンスを設定します。

show history

EXEC モード、管理 EXEC モード、管理コンフィギュレーションモード、またはグローバル コンフィギュレーションモードで実行されたコマンドの履歴を表示するには、サポートされているいずれかのモードで **show history** コマンドを使用します。

show history [detail]

構文の説明

detail (任意) 詳細な履歴情報を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC
 管理 EXEC
 管理コンフィギュレーション
 グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

show history コマンドは、現在のコマンドモードで入力されたコマンドの履歴を表示します。たとえば、EXECモードで入力されたコマンドの履歴を表示するには、**show history** コマンドを入力します。グローバル コンフィギュレーションモードで入力されたコマンドの履歴を表示するには、グローバル コンフィギュレーションモードで **show history** コマンドを入力します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

タスク ID	操作
basic-services	読み取り

例

次の例では、EXEC モードで **show history** コマンドを実行し、EXEC モードで入力されたコマンドの履歴を表示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show history
configure
admin
show history
```

次の例では、グローバル コンフィギュレーション モードで **show history** コマンドを実行し、グローバル コンフィギュレーション モードで入力されたコマンドの履歴を表示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# show history
interface pos 0/1/0/0
ipv4 address 10.0.0.0
root
end
describe line default autocommand config
line default autocommand configure
end
show history
```

show running-config

現在の実行コンフィギュレーションまたはそのコンフィギュレーションのサブセットの内容を表示するには、該当するモードで **show running-config** コマンドを使用します。

show running-config [[exclude] *command*] [sanitized]

構文の説明

exclude	(任意) 特定のコンフィギュレーションを表示から除外します。
<i>command</i>	(任意) 1つのコマンドのみを、または指定のコマンド ノード下で使用可能なコマンドのサブセットを表示します。
sanitized	(任意) 安全な配布と分析のためにサニタイズされたコンフィギュレーションを表示します。

コマンド デフォルト

引数またはキーワードを指定せずに **show running-config** コマンドを実行すると、実行コンフィギュレーション ファイルの全体の内容が表示されます。

コマンド モード

EXEC
 管理 EXEC
 任意のコンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

実行コンフィギュレーションの全体、または実行コンフィギュレーションのサブセットのいずれかを表示できます。サブセットは、指定のコマンドモード内のすべてのコマンドである場合があります。



(注) Cisco IOS XR ソフトウェアでは、実行コンフィギュレーションは、システムの起動時、リセット時、または電源の再投入時に自動的に使用されます。実行コンフィギュレーションはコミットされたコンフィギュレーションです。

サニタイズされた出力

インストール固有のパラメータを使用せずにアクティブな実行コンフィギュレーションの内容を表示するには、**show running-config** コマンドを **sanitized** キーワードを指定して使用します。IP アドレスなどの一部のコンフィギュレーション詳細情報は、異なるアドレスで置き換えられます。サニタイズされたコンフィギュレーションを使用すると、コンフィギュレーションの詳細情報を公開せずにコンフィギュレーションを共有できます。

コマンドモード

管理コンフィギュレーションモードで **show running-config** コマンドが入力されると、システムで設定された論理ルータを含む管理プレーンのコンフィギュレーションが表示されます。任意のグローバルコンフィギュレーションモードまたは EXEC モードで **show running-config** コマンドを入力すると、特定のセキュアドメインルータ (SDR) のコンフィギュレーションが表示されます。

表示から一部分を除外

exclude キーワードのあとに *command* 引数を指定し、表示から特定のコンフィギュレーションを除外します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り

例

次の例は、疑問符 (?) によるオンラインヘルプ機能を指定して、**show running-config** コマンドを入力し、実行コンフィギュレーションのサブセットを表示するために入力できる、実行コンフィギュレーションの使用可能なサブセットを表示する方法を示します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show running-config ?
aaa                Authentication, Authorization and Accounting
alias              Create an alias for entity
aps                Configure SONET Automatic Protection Switching (APS)
arp                Global ARP configuration subcommands
as-path            BGP autonomous system path filter
as-path-set        Define an AS-path set
banner             Define a login banner
cdp                Enable CDP, or configure global CDP subcommands
cef                CEF configuration commands
cinetd             Global Cisco inetd configuration commands
```

```

class-map          Configure QoS Class-map command
clock              Configure time-of-day clock
community-list     Add a community list entry
community-set      Define a community set
controller         Controller configuration subcommands
dhcp               Dynamic Host Configuration Protocol
domain             Domain service related commands
exception          Coredump configuration commands
exclude            Exclude a feature or configuration item from display
explicit-path      Explicit-path config commands
extcommunity-set   Define an extended community set
fault              Fault related commands
forward-protocol   Controls forwarding of physical and directed IP broadcasts
ftp                Global FTP configuration commands
--More--
    
```

次の例では、Packet-over-SONET/SDH (POS) インターフェイス 0/2/0/1 の実行コンフィギュレーションを表示するために **show running-config** コマンドが使用されています。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# show running-config interface pos 0/2/0/1

interface POS0/2/0/1
ipv4 address 10.0.0.0 255.0.0.0
    
```

次の例は、**sanitized** キーワードを指定して実行コンフィギュレーションのサニタイズバージョンを表示する、**show running-config** コマンドからの出力例を示します。サニタイズされたコンフィギュレーションを使用することにより、コンフィギュレーションを、その詳細を表示せずに共有することができます。

```

RP/0/RSP0/CPU0:router# show running-config sanitized

Building configuration...

!! Last configuration change at 05:26:50 UTC Thu Jan 19 2009 by <removed>
!
snmp-server traps fabric plane
snmp-server traps fabric bundle state
hostname <removed>
line console
exec-timeout 0 0
!
exception choice 1 compress off filepath <removed>
logging console debugging
telnet vrf <removed> ipv4 server max-servers no-limit
snmp-server ifindex persist
snmp-server host 10.0.0.1 traps version <removed> priv <removed> udp-port 2555
snmp-server view <removed> <removed> included
snmp-server community <removed> RO LROwner
snmp-server community <removed> RO LROwner
snmp-server group <removed> v3 priv read <removed> write <removed>
snmp-server traps snmp
snmp-server traps syslog
interface Loopback10
!
interface Loopback1000
!
--More--
    
```

関連コマンド

コマンド	説明
show configuration (config) , (100 ページ)	ターゲットコンフィギュレーションの内容を表示します。
show configuration running-config , (138 ページ)	コミットされたコンフィギュレーションの内容を表示します。

template

テンプレート名を作成してテンプレートコンフィギュレーションモードを開始するには、グローバルコンフィギュレーションモードで **template** コマンドを使用します。テンプレートの定義を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

template name

no template name

構文の説明

<i>name</i>	作成されるテンプレートの一意の名前。
-------------	--------------------

コマンド デフォルト

テンプレートは定義されていません。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更箇所
リリース 3.7.2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、適切なタスク ID を含むタスク グループに関連付けられているユーザ グループに属している必要があります。ユーザ グループの割り当てのためにコマンドを使用できない場合は、AAA 管理者に連絡してください。

テンプレートコンフィギュレーションモードを開始するには、**template** コマンドを使用します。テンプレートコンフィギュレーションモードでは、コンフィギュレーションコマンドのサブセットを名前付きのテンプレートでグループ化できます。通常使用されるコンフィギュレーションコマンドセットを名前付きのテンプレートでグループ化できます。テンプレートの定義は、C マクロ機能の作成と類似しています。テンプレートはモジュール性を提供し、コンフィギュレーションを容易にします。

テンプレートコンフィギュレーションモードを終了するには、**end-template** コマンドを使用します。テンプレートの定義後、テンプレートを適用するには、**apply-template** コマンドを使用します。テンプレートの内容を表示するには、**show running-config** コマンドを、オプションの **template** キーワードと *template-name* 引数を指定して使用します。

タスク ID

タスク ID	操作
config-services	読み取り、書き込み

例

次に、テンプレートコンフィギュレーションモードを開始してテンプレートを作成する例を示します。この例では、事前設定された Packet-over-SONET/SDH (POS) インターフェイス 0/1/0/1 用に「pre-pos」というテンプレートが定義されます。**end-template** コマンドは、テンプレートコンフィギュレーションモードを終了するために使用します。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# configure
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)# template pre-pos
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-TPL)# interface preconfigure pos0/1/0/0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if-pre)# ipv4 address 10.3.32.154 255.0.0.0
RP/0/RSP0/CPU0:router(config-if-pre)# end-template
RP/0/RSP0/CPU0:router(config)#
```



(注)

テンプレートの設定後、設定したテンプレートの内容を表示できます。テンプレートコンフィギュレーションを表示するには、**show running-config** コマンドを、**template name** キーワードおよび引数を指定して使用します。

次の例は、**template name** キーワードと引数を指定した **show running-config** コマンドの出力例を示します。この例では、出力に「pre-pos」という名前のテンプレートの内容が表示されます。

```
RP/0/RSP0/CPU0:router# show running-config template pre-pos

template pre-pos
  interface preconfigure POS0/1/0/0
    ipv4 address 10.3.32.154 255.0.0.0
  !
end-template
```

関連コマンド

コマンド	説明
apply-template , (11 ページ)	テンプレートをターゲットコンフィギュレーションに適用します。
end-template , (40 ページ)	テンプレートコンフィギュレーションモードを終了します。
show running-config , (147 ページ)	現在の (アクティブな) 実行コンフィギュレーションを表示します。